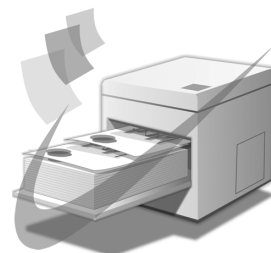


使用説明書

〈プリンター機能編〉



-
- ① 印刷するための準備
 - ② プリンタードライバー画面と設定方法
 - ③ いろいろな印刷
 - ④ ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する
 - ⑤ 印刷条件を設定する
 - ⑥ 付録

ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」をお読みください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

■ 複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1) 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- ・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- ・日本や外国の郵便切手、印紙

(関係法律)

- ・紙幣類似証券取締法
- ・通貨及証券模造取締法
- ・郵便切手類模造等取締法
- ・印紙等模造取締法
- ・(刑法 第148条 第162条)

2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- ・外国の紙幣、貨幣、銀行券
- ・株券、手形、小切手などの有価証券
- ・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- ・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

(関係法律)

- ・刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
- ・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3) 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプション、機能の設定によって異なります。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

★重要

- ・本機の使用説明書は、紙マニュアルと電子マニュアル（PDF 形式）が用意されています。
- ・電子マニュアルは、付属の CD-ROM に収録されています。
- ・提供される形態は使用説明書により異なります。詳しくは、「マニュアル一覧表」を参照してください。
- ・PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

◆本機のご利用にあたって

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
また、本機で利用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属 CD のインストール方法などについても説明しています。

◆初期設定編

本機を使うための各機能の初期設定方法、アドレス帳の登録方法、機器の接続方法について説明しています。

◆こんなときには

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。

◆セキュリティ編

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るための方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。
セキュリティ強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

◆コピー機能／ドキュメントボックス機能編

コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。

◆プリンター機能編

プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆スキャナー機能編

スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆ネットワークガイド

ネットワーク環境で使う方法、付属のソフトウェアを使う方法について説明しています。

◆RP-GL/2 編

RP-GL/2 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。



◆RTIFF 編

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

◆その他の使用説明書

- ・クイックガイド
- ・PostScript 3 編

マニュアル一覧表

分冊名	紙マニュアル 	電子マニュアル (PDF 形式) 
本機のご利用にあたって	あり	なし
初期設定編	なし	あり
こんなときには	あり	なし
セキュリティ編	あり	なし
コピー機能／ドキュメントボックス機能編	なし	あり
プリンター機能編	なし	あり
スキャナー機能編	なし	あり
ネットワークガイド	なし	あり
RP-GL/2 編	なし	あり
RTIFF 編	なし	あり
PostScript 3 編	なし	あり
クイックガイド	あり	なし

目次

使用説明書の分冊構成	1
マニュアル一覧表	2
この本の読みかた	6
マークについて	6
おもなオプションと略称	7
画面について	8
通常画面について	8
簡単画面について	10
ジョブ一覧	11
ジョブ一覧画面について	11
予約内容を確認する	13
順序を入れ替える	14
印刷を保留する	15
ジョブを削除する	15
ジョブ履歴を確認する	16
プリンター初期設定項目一覧	17
手差しトレイに用紙をセットする	22
定形サイズの下紙をセットする	24
不定形サイズの下紙をセットする	26
トレーシングペーパー、フィルムをセットする	28
ロール紙トレイ、カット紙トレイに用紙をセットする	30
不定形サイズの下紙をセットする	30

1. 印刷するための準備

接続方法を確認する	33
ネットワーク接続	33
Windows の印刷ポートを使用する	33
プリントサーバーを使用する	35
ローカル接続	36
プリンタードライバのインストール	37
おすすすめインストール	37
各ポート別インストール	39
Network Monitor for Client ポートを使う	39
プリンタードライバのインストール (TCP/IP)	40
プリンタードライバのインストール (IPP)	42
Network Monitor for Client ポートの設定を変更する	45
Standard TCP/IP ポートを使う	46
LPR ポートを使う	48
Windows ネットワークプリンターを使う	51
NetWare プリントサーバー、リモートプリンターを使う	54
PostScript で印刷するとき	56
フォームフィードの設定	56
パナーページの設定	57
プリンターのリセット後に印刷するとき	57
USB 接続	58
Windows Me と USB で接続する	58
Windows 2000 と USB で接続する	60
Windows XP、Windows Server 2003 と USB で接続する	61
Windows Vista と USB で接続する	63

パラレル接続	64
オプション構成の設定	66
双方向通信が働く条件	66
双方向通信が働かない場合	67

2. プリンタードライバ画面と設定方法

2 種類の操作画面	69
Windows 95/98/Me の場合	70
Windows 95/98/Me で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	70
Windows 95/98/Me でアプリケーションからプロパティを表示する	71
Windows 2000 の場合	72
Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	72
Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する	73
Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する	74
Windows XP、Windows Server 2003 の場合	75
Windows XP、Windows Server 2003 で [プリンタと FAX] ウィンドウからプロパティを表示する	75
Windows XP、Windows Server 2003 で [プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定を表示する	76
Windows XP、Windows Server 2003 でアプリケーションからプロパティを表示する	77
Windows Vista の場合	78
Windows Vista で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	78
Windows Vista で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する	79
Windows Vista でアプリケーションからプロパティを表示する	80
Windows NT 4.0 の場合	81
Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティ表示する	81
Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからドキュメントの既定値を表示する	83
Windows NT 4.0 でアプリケーションからプロパティを表示する	84

3. いろいろな印刷

コマンドを使用する	85
文書印刷機能を使用する	86
[文書印刷初期画面] を表示する	89
文書一覧画面から文書を印刷する	91
試し印刷する	91
2 部目以降を印刷する	92
試し印刷文書を消去する	94
機密印刷する	94
操作部を使って機密印刷する	96
機密印刷文書を消去する	98
保留文書を印刷する	99
操作部を使って保留文書を印刷する	100
保留印刷文書を消去する	101
保存文書を印刷する	102
操作部を使って保存文書を印刷する	103
保存文書を消去する	105
ユーザー ID 一覧から文書を印刷する	106
文書を選択して印刷する場合	106
文書をすべて印刷する場合	108
印刷を中止する	110
中止したいデータが印刷されている場合	110
中止したいデータが印刷されていない場合	111
エラー履歴を確認する	112

スプール印刷について	113
機密管理ナンバリングやスタンプ印字について	114
機密管理印字を使用する	114
スタンプを印字する	116
ユーザースタンプを印字する	118
日付を印字する	120
ソートについて	122
プリンタードライバーで用紙種類を選択するとき	124
印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える	125

4. ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

概要	127
Windows で RPCS（標準）をご使用の場合	129
RPCS（標準）での設定方法	129
RPCS（標準）での設定項目	131
Windows で PostScript 3（オプション）をご使用の場合	133
PostScript 3（オプション）での設定方法	133
PostScript 3（オプション）での設定項目	135
Macintosh でご使用の場合	136
Macintosh での設定方法	136
Macintosh での設定項目	137
蓄積文書を管理する	139

5. 印刷条件を設定する

印刷条件について	141
エミュレーションを切り替える	142
印刷条件を設定する	143
印刷条件の設定方法	143
印刷条件リストを印刷する	144
よく使う印刷条件を登録する	145
プログラムを登録する	145
プログラムを呼び出す	146
プログラムを削除する	147
プログラムの内容を印刷する	148
給紙トレイを選択する	149

6. 付録

仕様	151
電波障害について	152

索引	153
----------	-----

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』『安全上のご注意』にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。『本機のご利用にあたって』『安全上のご注意』にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足事項、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
ロール給紙ユニット 1 段 WG2/WG3	1 段ロール紙トレイ * ¹
ロール給紙ユニット 2 段 WG2/WG3	2 段ロール紙トレイ * ¹
カセット CT6500	カット紙トレイ
拡張 1284 ボード タイプ B	拡張 1284 ボード * ²
拡張無線 LAN ボード タイプ J	拡張無線 LAN ボード * ²
GigaBit イーサネットボードタイプ 6	イーサネットボード * ²
PS3 カード WG2/WG3	PS3 カード (PostScript 3、PDF Direct)

*¹ 同時に装着することはできません。

*² 同時に装着することはできません。

↓ 補足

- その他のオプションについては、『本機のご利用にあたって』「おもなオプションと略称」を参照してください。

📖 参照

- 『本機のご利用にあたって』「おもなオプションと略称」

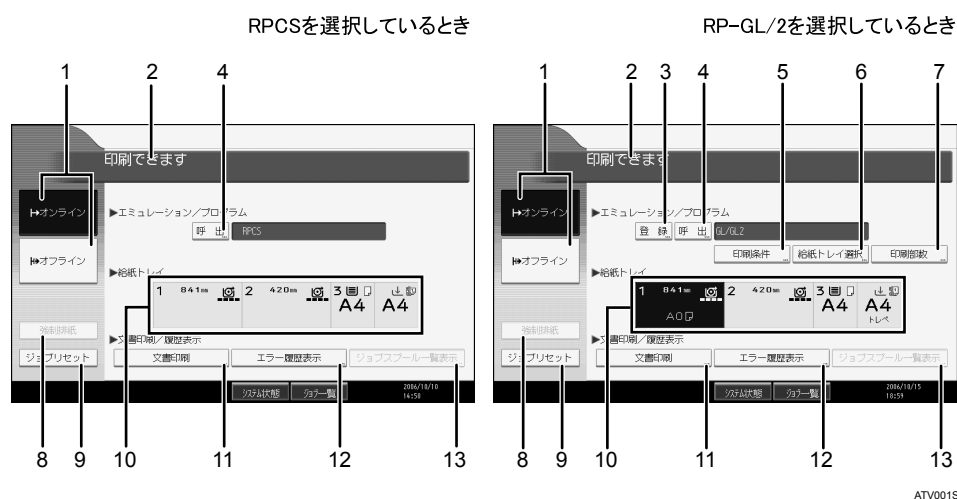
画面について

本機の画面について説明します。

通常画面について

プリンター機能の操作部で表示される画面の構成を、RPCS と RP-GL/2 の場合を例として説明します。

表示されているそれぞれの機能項目は、選択キーになっています。軽く押すことによって、項目を選んだり、指定したりすることができます。



ATV001S

1 【オンライン】 / 【オフライン】

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。

オンライン状態は、パソコンからのデータを受信し、印刷できる状態です。

オフライン状態は、パソコンからのデータを受信しない状態です。

2 メッセージ表示部

「印刷できます」、「オフライン」、「印刷中です」などの本機の状態を表示します。

また、印刷中はジョブ情報（ユーザー ID および文書名）を表示します。

3 登録

エミュレーション／プログラムを登録や削除する画面に切り替えます。

4 呼出

オプションのエミュレーションがあるときや登録したプログラムがあるときに、エミュレーション／プログラムを呼び出す画面に切り替えます。

5 印刷条件

選択しているエミュレーションの印刷条件を設定する画面に切り替えます。

6 給紙トレイ選択

給紙トレイを切り替えます。

7 印刷部数

印刷する部数を設定します。

エミュレーション／プログラムで、RTIFF または RPGL を選択しているときに表示されます。

8 強制排紙

印刷されずに本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

RPCS のときは、利用できません。

9 ジョブリセット

印刷している文書の受信データを消去し、印刷を中止します。

オフライン状態でヘキサダンプに設定しているときに押すと、ヘキサダンプを解除します。

10 給紙トレイ表示

現在選択されている給紙トレイが、反転表示されます。

ただし、エミュレーション／プログラムで RPCS または PS3 を選択しているときは、反転表示されません。

11 文書印刷

パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書を印刷する画面に切り替えます。

12 エラー履歴表示

パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷／機密印刷／保留文書印刷／保存文書印刷などでエラーが発生したとき、履歴を表示する画面に切り替えます。

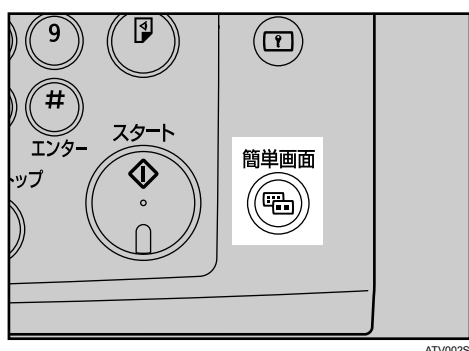
13 ジョブスプルー一覧表示

スプールされたジョブの状態を表示する画面に切り替えます。

ジョブスプルー印刷を無効にすると、半輝度表示されます。

簡単画面について

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。
[簡単画面] キーを押すと、プリンター初期画面から簡単画面に切り替わります。
簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。
文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。



◆ 簡単画面表示の一例



↓ 補足

- ・プリンター初期画面に切り替えたいときは、再度 [簡単画面] キーを押してください。
- ・簡単画面では表示されないキーがあります。

ジョブ一覧

コピー、ドキュメントボックス、プリンターなどの機能から印刷すると、データは一時的に本機に記憶され、順番に実行されます。ジョブ一覧機能を利用することで、蓄積されたジョブを管理することができます。例えば、設定を間違えたジョブを取り消したい、急ぎの文書を先に印刷したいなど、さまざまな状況に対応できます。

↓ 補足

- ・ジョブ一覧機能は、割り込みコピー中は使えません。
- ・スキャナー機能から印刷した文書はジョブ一覧で表示されません。

ジョブ一覧画面について

ジョブ一覧画面で表示される画面とアイコンについて説明します。

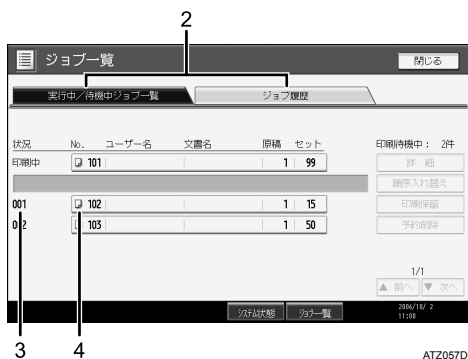
システム初期設定「印刷優先機能設定」の「予約順印刷」を設定によって、表示する画面が異なります。

設定方法については『初期設定編』『基本設定-印刷優先機能設定』を参照してください。

◆【予約順印刷】を選択していないとき
機能ごとにジョブ一覧を表示します。



- ◆【予約順印刷】を選択しているとき
全ての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。



- 1) 機能ごとにジョブリストを切り替えます。
- 2) 【実行中／待機中ジョブ一覧】と【ジョブ履歴】を切り替えます。
- 3) 予約番号が表示されます。
- 4) 印刷した機能が表示されます。

- : コピー機能で印刷するジョブ
- : プリンター機能で印刷するジョブ
- : ドキュメントボックス機能で印刷するジョブ
- : Web Image Monitor で印刷するジョブ

参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定-基本設定」

予約内容を確認する

ジョブの内容を確認します。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 内容を確認したいジョブを選択します。
- 3 [詳細] を押し、内容を確認します。



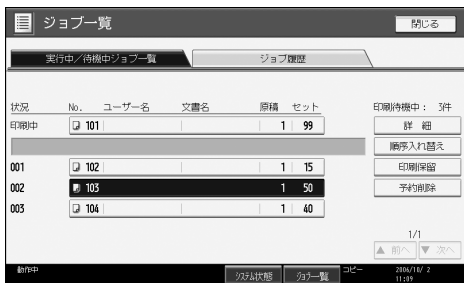
- 4 [閉じる] を押します。



順序を入れ替える

予約待ちジョブリストの印刷順序を入れ替えます。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 順序を入れ替えたいジョブを選択します。
- 3 [順序入れ替え] を押します。



- 4 [▲先頭へ] [▲前へ] [▼次へ] を押して、入れ替える順序を選択します。



- 5 [OK] を押します。



選択したジョブの順序が入れ替わります。

印刷を保留する

印刷中、または実行待ちのジョブの印刷を保留します。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 印刷を保留したいジョブを選択します。
- 3 [印刷保留] を押します。



選択したジョブ以降のジョブがすべて保留となります。印刷が保留されたジョブは、「保留中」と表示されます。

↓ 補足

- ・「予約順印刷」を選択しているときだけ使用できる機能です。
- ・印刷を再開するときは、[印刷再開] を押します。

ジョブを削除する

印刷中、または実行待ちのジョブを削除します。

- 1 [ジョブ一覧] を押します。
- 2 削除したいジョブを選択します。
- 3 [予約削除] を押します。



確認画面が表示されます。

- 4 [削除する] を押します。

↓ 補足

- 複数の文書を削除するときは、手順 **2** で、削除する文書をすべて選択します。

ジョブ履歴を確認する

印刷が終了したジョブの履歴を確認します。また、印刷が終了したジョブの内容も確認できます。

1 [ジョブ一覧] を押します。

2 [ジョブ履歴] を押します。

今までに実行したジョブの一覧が表示されます。



3 内容を確認したいジョブを選択します。

4 [詳細] を押し、内容を確認します。

5 [閉じる] を押します。

プリンター初期設定項目一覧

プリンター初期設定で設定できる各種項目と概要について説明します。プリンター初期設定画面は〔初期設定 / カウンター / 問合せ情報〕キーを押して表示させます。詳しい設定方法については、『初期設定編』「プリンター初期設定」を参照してください。

◆ テスト印刷

初期設定の項目名	概要
一括リスト印刷	システム設定リストとエラー履歴を印刷します。
システム設定リスト	プリンター初期設定の設定値を印刷します。
エラー履歴	印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も出力されます。
印刷条件リスト	印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで [RPCS]、[PS3]、または [PDF] を選択しているときは印刷できません。
メニューリスト	プリンター初期設定のメニュー構成を印刷します。
登録フォームリスト	本機に登録されているフォームの一覧を印刷します。
全文字印刷	印刷できるすべての文字を印刷します。エミュレーションで [RPCS]、[RPGL]、[RTIFF]、[PS3]、または [PDF] を選択しているときは印刷できません。
フォントリスト	印刷できるすべてのフォントを印刷します。エミュレーションで [RPCS]、[RPGL]、[RTIFF]、[PS3]、または [PDF] を選択しているときは、印刷できません。
PS 情報リスト	PostScript の設定情報、および PostScript が使用可能なフォントリストを印刷することができます。オプションの PS3 カードを搭載し、かつエミュレーションで [PS3] を選択しているときに印刷できます。
PDF 情報リスト	PDF の設定情報、および PDF が使用可能なフォントリストを印刷することができます。オプションの PS3 カードを搭載し、かつエミュレーションで [PDF] を選択しているときに、印刷できます。
ヘキサダンプ	印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

◆ 調整／管理

初期設定の項目名	概要
メニュープロテクト	プリンター初期設定を変更できる人を制限することが出来ます。詳しくは管理者に問い合わせてください。
テスト印刷禁止	[する] に設定すると、テスト印刷を禁止します。
一時置き文書全消去	機密文書、試し文書、保留文書で蓄積されている文書をすべて消去します。
保存文書全消去	保存文書で蓄積されている文書をすべて消去します。

◆ システム設定

初期設定の項目名	概要
エラーレポート印刷	印刷処理中に、文法エラー、メモリー不足などにより正常に印刷できなかった場合、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。
エラースキップ	プリンタードライバーから指示した用紙サイズ・紙種の条件に合うトレイがなかった場合のプリンターの動作を設定します。
画像エラー処理	送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できない場合のプリンターの動作を設定します。
エラー表示設定	プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。
180 度回転	印刷データを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。
一時置き文書自動消去設定	試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書など、本機に一時的に蓄積されている文書データを、蓄積後に自動で消去するかしないかを設定します。
保存文書自動消去設定	保存文書を、蓄積後に自動で消去するかしないかを設定します。
文書印刷初期画面	プリンター画面の [文書印刷] を押したときに表示される画面を設定します。
エミュレーション検知	プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。
優先エミュレーション／プログラム	電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。
優先メモリー	優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択してください。
予約印刷明け渡し時間設定	印刷の明け渡しをするかしないか、する場合にはその時間を設定します。
補助用紙サイズ	A4 と Letter (8 ¹ / ₂ ×11) の切り替えをするかしないかを設定します。

初期設定の項目名	概要
手差しトレイ設定選択	[ドライバー／コマンド優先] を選択した場合、プリンタードライバーまたはコマンドによる手差しトレイの設定が、操作部による設定より優先されます。[機器側設定優先] を選択した場合、操作部による手差しトレイの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

◆ システム設定 (EM)

初期設定の項目名	概要
白紙排紙	排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。
自動排紙時間	一定時間、パソコンからデータが送信されてこない場合、プリンター内に残ったデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。
不定形サイズ設定：トレイ 1	トレイ 1 の不定形サイズを設定します。 横：210～914mm 縦：280～15000mm
不定形サイズ設定：トレイ 2	トレイ 2 の不定形サイズを設定します。 横：210～914mm 縦：280～15000mm
拡張リミットレス給紙	印刷中に用紙がなくなったとき、同じサイズ of 用紙が他の給紙トレイにセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙トレイから続けて給紙することができます。これを「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。

◆ PS 設定

初期設定の項目名	概要
白紙排紙	排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。
データ形式	データ形式を設定します。
解像度	解像度を設定します。
最大領域印刷	用紙サイズいっぱい to 印刷するかどうかを設定します。

◆ PDF 設定

初期設定の項目名	概要
PDF パスワード変更	印刷するファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。
白紙排紙	排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。
解像度	解像度を設定します。
最大領域印刷	用紙サイズいっぱいに印刷するかどうかを設定します。

◆ インターフェース設定

初期設定の項目名	概要
受信バッファ	受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。
インターフェース切替時間	パラレルインターフェース、または USB2.0 インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、他のインターフェースからのデータの受信が可能になります。

◆ 印字設定

初期設定の項目名	概要
On / Off 設定	[機密管理ナンバリング]、[スタンプ印字]、[ユーザースタンプ印字]、[日付印字] のスタンプ印字をするか、それぞれ設定します。工場出荷時は、すべて「しない」に設定されています。
機密管理ナンバリング	機密文書にナンバーの地紋を付けて印刷します。印字を開始する番号を 1～999 の範囲で指定できます。スタンプは、他のスタンプの種類を含め、2 種類まで印字できます。
スタンプ印字	あらかじめ登録されているスタンプを印字します。印字するスタンプの種類、位置、ページを設定します。スタンプは、他のスタンプの種類を含め、2 種類まで印字できます。
ユーザースタンプ印字	よく使用する文字やマークを登録しておき、スタンプのように印字します。ユーザースタンプは 4 種類まで登録でき、印字するユーザースタンプの種類、位置、ページを設定します。スタンプは、他のスタンプの種類を含め、2 種類まで印字できます。
日付印字	印字する日付の印字書式、位置、ページを設定します。時計設定で設定されている日時が印字されます。

↓ 補足

- [システム設定 (EM)] は、[エミュレーション / プログラム] の [呼出] で、[RPGL]、[RTIFF] を選択しているときに表示されます。
- [PS 設定] は、[エミュレーション / プログラム] の [呼出] で、[PS3] を選択しているときに表示されます。
- [PDF 設定] は、[エミュレーション / プログラム] の [呼出] で、[PDF] を選択しているときに表示されます。
- ご使用の機種、装着しているオプション、選択しているエミュレーションによっては、表示されない項目もあります。
- セキュリティの設定によっては、設定できない項目もあります。
- 詳しくは、『初期設定編』「プリンター初期設定」を参照してください。

📖 参照

- 『初期設定編』「プリンター初期設定」

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

手差しトレイにセットできる用紙のサイズと種類の詳細については、『本機のご利用にあたって』「用紙について」を参照してください。

★重要

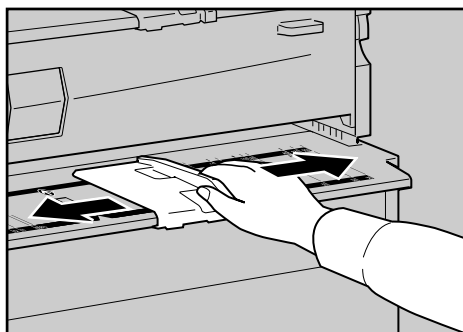
- ・手差しトレイにセットできる用紙サイズは、幅（ヨコ）210～914.4mm、長さ（タテ）257～2000mmです。
- ・必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。
- ・手差しトレイにセットした用紙に印刷する場合は、次の機能が使用できません。
 - ・自動トレイ選択
 - ・リミットレス給紙
- ・手差しトレイにセットできる枚数は1枚だけです。

1 手差しトレイにセットする用紙のサイズを設定します。

［プリンター初期設定］の［システム設定］で、［手差しトレイ設定選択］を［ドライバー／コマンド優先］に設定した場合、操作パネルでの設定は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。

操作パネルでの設定方法については、「定形サイズをセットする」「不定形サイズの用紙をセットする」「トレーシングペーパー、フィルムをセットする」を参照してください。

2 プリンターの手差し用紙ガイドを、用紙のサイズと方向に合わせます。



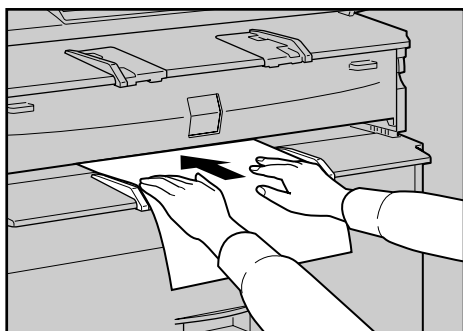
ATZ030S

用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されたり、用紙がつまる原因になります。

3 印刷データを本機に送信します。

4 印刷する面を上にして、用紙を軽く差し込みます。

用紙は左右均等に挿入し、ローラーに引き込まれるまで、確実に手を添えておいてください。自動的に用紙が送られ、印刷が始まります。



ATZ031S

5 用紙が正しく送られることを確認します。

↓ 補足

- 用紙はローラーに突き当てて、ピッと音がするまで挿入してください。
- 複数枚の印刷をするときは、続けて用紙をセットします。
- ロール状の用紙をセットする場合は、下排紙補助ガイドを引き出して、その上に用紙を置いてセットします。詳しくは、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「ロール状の原稿をセットする」を参照してください。
- トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで「トレペ」または「フィルム」を設定してください。
- プリンタードライバーでの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

目 参照

- 『本機のご利用にあたって』「用紙について」
- 『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「ロール状の原稿をセットする」

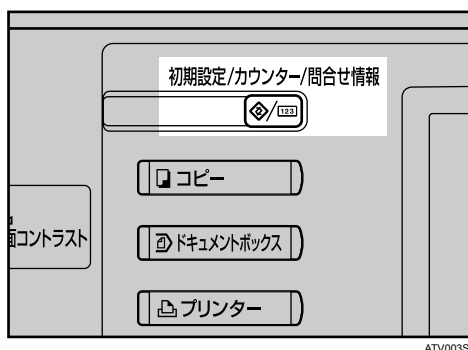
定形サイズの内紙をセツトする

定形サイズの内紙の設定方法について説明します。

★重要

- ・[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[手差しトレイ設定選択] を [ドライバー／コマンド優先] に設定した場合、以降の操作は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
- ・[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[手差しトレイ設定選択] を [機器側設定優先] に設定した場合、プリンタードライバーと操作部の用紙設定が一致していなければなりません。不一致が起きた場合、[システム設定] の [エラースキップ設定] を [しない] に設定していると、操作部に警告画面が表示されて印刷が停止します。

1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

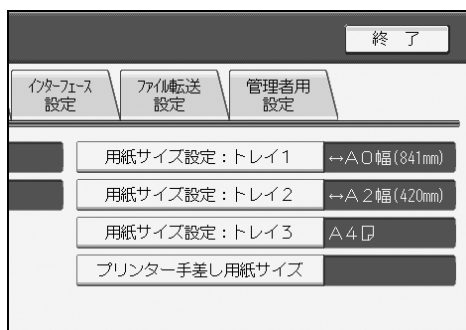


2 [システム初期設定] を押します。



3 [用紙設定] タブを押します。

4 [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。



5 目的の用紙サイズを選択します。



6 [設定] を押します。

設定した用紙サイズが表示されます。

7 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

補足

- トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで「トレペ」または「フィルム」を設定してください。
- 印刷手順の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

不定形サイズの内紙をセツトする

不定形サイズの用紙の設定方法について説明します。

★重要

- ・手差しトレイにセツトできる用紙サイズは、幅（ヨコ）210～914.4mm、長さ（タテ）257～2000mmです。
- ・[プリンター初期設定]の[システム設定]で、[手差しトレイ設定選択]を[ドライバー／コマンド優先]に設定した場合、以降の操作は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
- ・[プリンター初期設定]の[システム設定]で、[手差しトレイ設定選択]を[機器側設定優先]に設定した場合、プリンタードライバーでの設定よりも、操作部での設定が有効になります。
- ・プリンタードライバーを使用しない場合は、[プリンター初期設定]の[システム設定]で、[手差しトレイ設定選択]を必ず[機器側設定優先]に設定し、操作部で用紙サイズを設定してください。

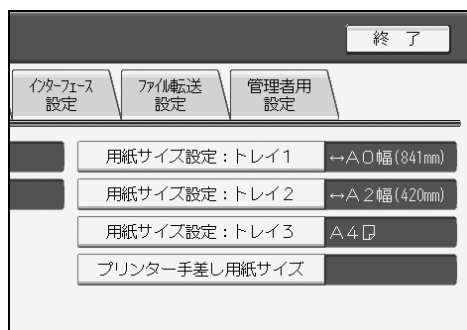
1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2 [システム初期設定] を押します。

3 [用紙設定] タブを押します。

4 [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。



5 [不定形サイズ指定] を押します。



不定形サイズ入力画面が表示されます。

6 [タテ] または [ヨコ] を押してから、テンキーで用紙のサイズを入力し、[#] キーを押します。



7 [設定] を押します。

設定したサイズが表示されます。

8 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- ・トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで「トレペ」または「フィルム」を設定してください。
- ・印刷手順の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

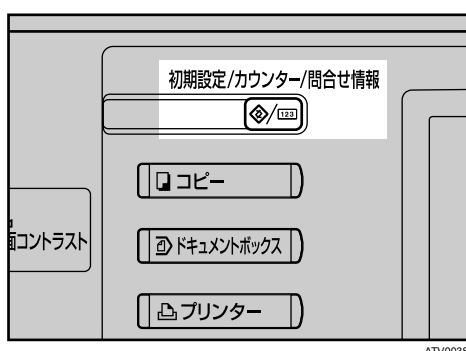
トレーシングペーパー、フィルムをセットする

トレーシングペーパーやフィルムをセットするときの設定方法について説明します。

★重要

- ・[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[手差しトレイ設定選択] を [ドライバー／コマンド優先] に設定した場合、以降の操作は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
- ・[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[手差しトレイ設定選択] を [機器側設定優先] に設定した場合、プリンタードライバーでの設定よりも、操作部での設定が有効になります。
- ・プリンタードライバーを使用しない場合は、[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[手差しトレイ設定選択] を必ず [機器側設定優先] に設定し、操作部で用紙サイズを設定してください。

1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2 [システム初期設定] を押します。

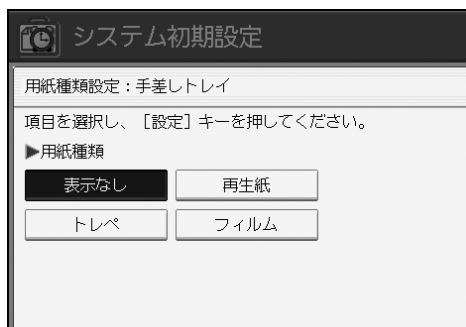
3 [用紙設定] タブを押します

4 [用紙種類設定：手差しトレイ] を押します。

目的の項目が表示されていないときは、[▲前へ] または [▼次へ] を押してタッチパネルの表示を切り替えます。



5 用紙の種類を選択します。トレーシングペーパーをセットする場合は[トレペ]、フィルムをセットする場合は[フィルム]を選択します。



6 [設定] を押します。

設定した用紙種類が表示されます。

7 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- ここで設定した内容は、次に設定し直すまで有効です。トレーシングペーパーやフィルムへの印刷が終了したら、次に作業をする人のために、元の状態に設定し直してください。
- 印刷手順の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ロール紙トレイ、カット紙トレイに用紙をセットする

ロール紙トレイまたはカット紙トレイに、用紙をセットする方法について説明します。
ロール紙トレイまたはカット紙トレイの用紙の種類やサイズを設定する場合は、本機の[システム初期設定]から設定します。

ロール紙トレイまたはカット紙トレイに用紙をセットする方法については、『こんなときには』「用紙がなくなったとき」を参照してください。

ロール紙トレイまたはカット紙トレイにセットできる用紙のサイズと種類の詳細については、『本機のご利用にあたって』「用紙について」を参照してください。

★重要

- ・カット紙トレイにセットした用紙に印刷する場合は、次の機能が使用できません。
 - ・リミットレス給紙

📖参照

- ・『本機のご利用にあたって』「用紙について」
- ・『こんなときには』「用紙がなくなったとき」

不定形サイズの下紙をセットする

ロール紙トレイに不定形サイズの用紙をセットするときの、設定方法について説明します。

★重要

- ・必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。

1 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。



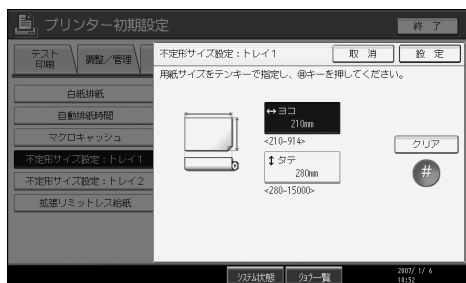
2 [プリンター初期設定] を押します。

3 [システム設定 (EM)] タブを押します。

- 4** 不定形サイズを設定するロール紙トレイを選択します。[不定形サイズ設定：トレイ 1] または [不定形サイズ設定：トレイ 2] を押します。



- 5** [タテ] または [ヨコ] を押してから、テンキーで用紙のサイズを入力し、[#] キーを押します。



- 6** [設定] を押します。
設定したサイズが表示されます。

- 7** [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。
通常画面に戻ります。

↓ 補足

- ・ [システム設定 (EM)] は、[RPGL]、[RTIFF] を選択しているときに表示されます。
- ・ ロール紙トレイの指定可能範囲は、幅 (ヨコ) 210～914mm、長さ (タテ) 280～15000mm です。
- ・ トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで「トレペ」または「フィルム」を設定してください。
- ・ 印刷手順の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. 印刷するための準備

1

プリンターとの接続方法、プリンタードライバーのインストールについて説明します。

接続方法を確認する

プリンターは、ネットワーク接続またはローカル接続することができます。プリンタードライバーをインストールする前に、プリンターをどのように接続したかを確認してください。

ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

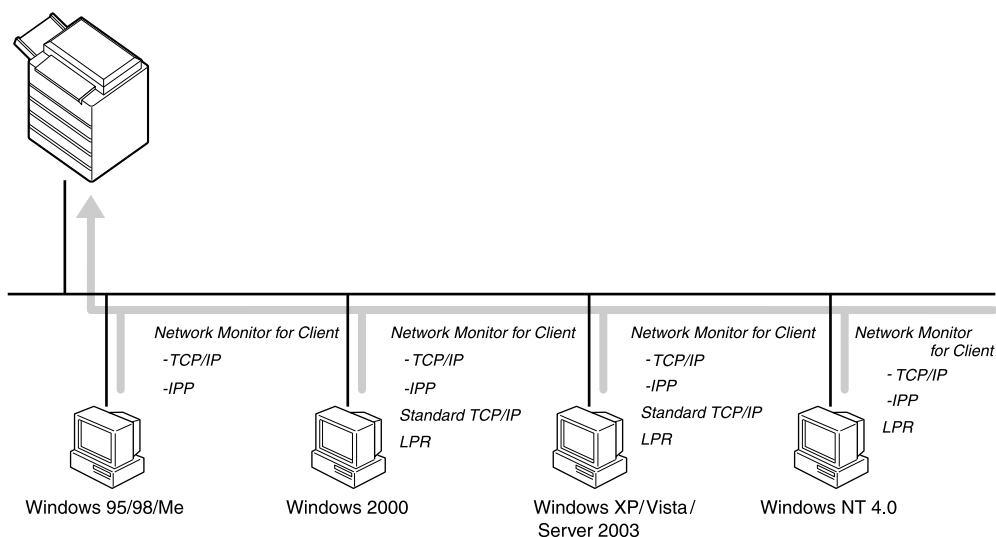
ネットワーク接続

ネットワーク接続でのプリンタードライバーのインストール方法の説明です。

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷 (Peer-to-Peer ネットワーク)、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の Windows によって、使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットまたは拡張無線 LAN を使用します。



◆ Windows 95/98 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート

◆ Windows Me の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート

◆ Windows 2000 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート、 Standard TCP/IP ポート、LPR ポート

◆ Windows XP の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート、 Standard TCP/IP ポート、LPR ポート

◆ Windows Vista の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート、 Standard TCP/IP ポート、LPR ポート

◆ Windows Server 2003 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート、 Standard TCP/IP ポート、LPR ポート

◆ Windows NT 4.0 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット / 拡張無線 LAN	Network Monitor for Client ポート、LPR ポート

↓ 補足

- ・各ポートごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のポートの記載を参照してください。

📖 参照

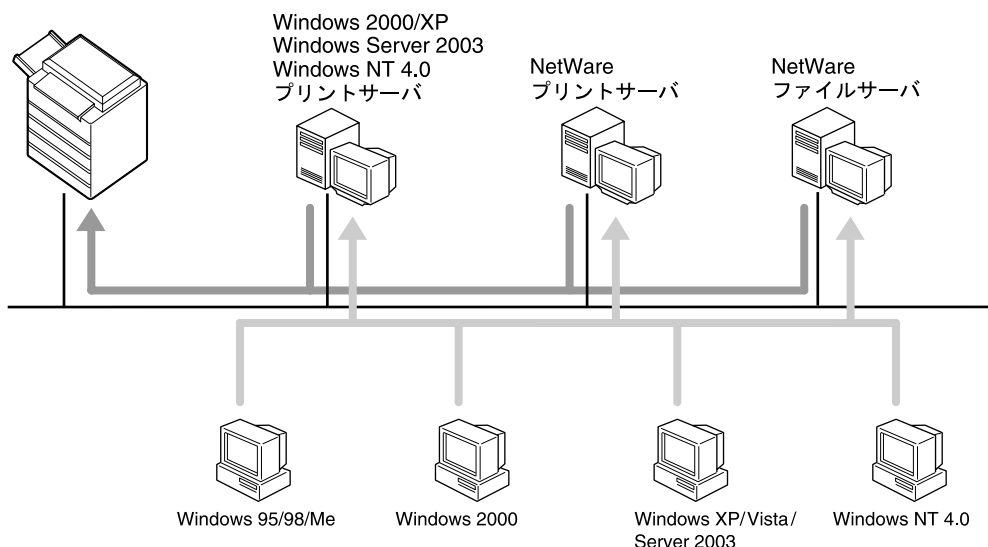
- ・P.39 「Network Monitor for Client ポートを使う」
- ・P.46 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- ・P.48 「LPR ポートを使う」

プリントサーバーを使用する

Windows ネットワークプリンター、NetWare プリントサーバ、または NetWare リモートプリンターとして使用できます。

★ 重要

- IPv6 の環境では、NetWare は使用できません。



BGY002D

↓ 補足

- ネットワークプリンターの種類ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のネットワークプリンターの記載を参照してください。

📖 参照

- P.51 「Windows ネットワークプリンターを使う」
- P.54 「NetWare プリントサーバ、リモートプリンターを使う」

ローカル接続

ローカル接続には、USB 接続とパラレル接続の接続方法があります。

ご使用の Windows によって、使用できる接続方法が異なります。

- Windows 95 / 98SE の場合：

パラレル接続

- Windows Me の場合：

USB 接続、パラレル接続

- Windows 2000 の場合：

USB 接続、パラレル接続

- Windows XP の場合：

USB 接続、パラレル接続

- Windows Vista の場合：

USB 接続、パラレル接続

- Windows Server 2003 の場合：

USB 接続、パラレル接続

- Windows NT 4.0 の場合：

パラレル接続

↓ 補足

- 接続方法ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用の接続方法の記載を確認してください。

目 参照

- P.58 「USB 接続」
- P.64 「パラレル接続」

プリンタードライバーのインストール

印刷するための準備として、プリンタードライバーのインストール方法について説明します。推奨する方法で一括インストールする「おすすめインストール」と、各ポート別にインストールする方法があります。

1

おすすめインストール

プリンタードライバーのインストールと、プリンターへの接続が簡単に設定されます。
[おすすめインストール] ボタンをクリックすると、本機が TCP/IP を使用しているネットワークに接続されていて、IP アドレスが設定されている場合、RPCS プリンタードライバーと Network Monitor for Client をインストールして TCP/IP ポートが設定されます。本機がパラレル接続されている場合は、RPCS プリンタードライバーをインストールして LPT1 ポートが設定されます。

おすすめインストールが利用できるのは、ご使用の OS が Windows 95/98/Me/2000/XP/Vista、Windows Server 2003、または Windows NT 4.0 の場合です。

★重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。



3 [おすすめインストール] をクリックします。
[使用許諾] ダイアログが表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [次へ] をクリックします。

5 [モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] に IP アドレスが表示されているプリンターを選択します。

パラレル接続の場合、[接続先] にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

6 [インストール] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされ、[導入完了] ダイアログが表示されます。インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

7 [完了] をクリックします。

[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

8 最初の画面で [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- 本機を USB 接続で使用する場合、おすすめインストールではプリンタードライバを正しくインストールすることができません。USB で接続した場合に必要な手順に従ってインストールします。詳しくは「USB 接続」を参照してください。
- パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールをすることができません。「双方向通信が働かない場合」を参照して、本機とパソコン間の双方向通信を設定してください。

参照

- P.58 「USB 接続」
- P.67 「双方向通信が働かない場合」

各ポート別インストール

Network Monitor for Client ポートを使う

1

Network Monitor for Client ポートを使用する場合の、インストール方法について説明します。

★重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Network Monitor for Client ポートを使う場合、プリンタードライバーをインストールする前に Network Monitor for Client をインストールします。

■ Network Monitor for Client のインストール

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- 3 [Network Monitor for Client/Admin] をクリックします。



Network Monitor for Client/Admin のインストーラーが起動します。

- 4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[同意します] にチェックし、[次へ] をクリックします。
- 5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、Network Monitor for Client をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 6 表示されるメッセージに従って Network Monitor for Client をインストールします。
インストールが完了するとメッセージが表示されます。

7 [完了] をクリックします。

[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

↓ 補足

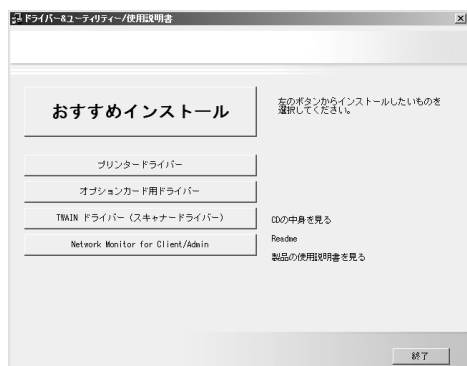
- ・インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。

プリンタードライバのインストール (TCP/IP)

TCP/IP を使用する場合の、インストール方法について説明します。

★ 重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。**2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**
インストーラーが起動します。**3 [プリンタードライバ] をクリックします。****4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。**
すべての項目をお読みください。

同意する場合は、[同意します] にチェックし、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバを
チェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

- 6** 使用する【プリンタ名】をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

【コメント：】、【ドライバー：】、【ポート：】は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

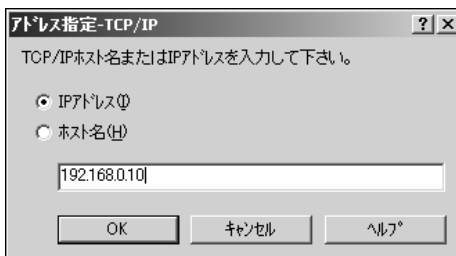
- 7** 【ポート：】を選択し、【追加】をクリックします。

- 8** 「Network Monitor for Client」を選択し、【OK】をクリックします。

- 9** 【TCP/IP】をクリックします。

- 10** 【機器検索】をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。コンピューターからのブロードキャストに 응답したプリンターだけが表示されます。表示されないプリンターに印刷するときは、【アドレス指定】をクリックし、本機のアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



- 11** 印刷するプリンターをクリックして選択します。

- 12** 【OK】をクリックします。

【ポートの追加】ダイアログが閉じます。

- 13** 【ポート：】に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

- 14** 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

【ユーザーコード：】をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

- 15** 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

- 16** 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、【完了】をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、【はい】または【続行】をクリックし、インストールを続行してください。

17 **【コンポーネントの選択】** ダイアログに戻り、**【完了】** をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

18 **【導入完了】** ダイアログが表示されたら、**【完了】** をクリックします。
[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で **【キャンセル】** をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ・ユーザーコードを設定しておく、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

目 参照

- ・『こんなときには』『プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき』

プリンタードライバーのインストール (IPP)

IPP を使用する場合は、インストール方法について説明します。

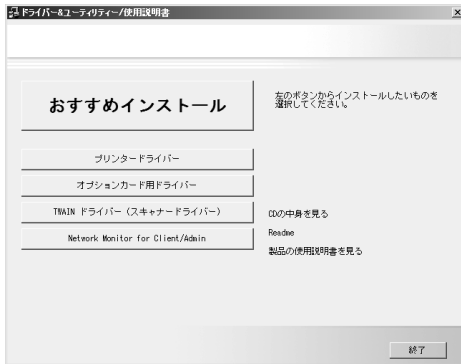
★ 重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **すべてのアプリケーションを終了します。**

2 **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



1

4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。

同意する場合は、[同意します] にチェックし、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバーをチェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 使用する [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。

9 [IPP] をクリックします。

10 [プリンタの URL] に「http:// (本機のアドレス) /printer」のように入力します。

SSL (暗号化通信) の設定を有効にしている場合、「https:// (本機のアドレス) /printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer 6.0 以降を推奨します。

[プリンタの URL] には「http:// (本機のアドレス) /ipp」のように入力することもできます。

11 必要に応じて [IPP ポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

12 プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

詳しい設定項目については、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

13 [OK] をクリックします。

[ポートの追加] ダイアログが閉じます。

14 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

15 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

16 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

17 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

18 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

19 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ・ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

☞ 参照

- ・『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

Network Monitor for Client ポートの設定を変更する

TCP/IP のタイムアウト、代行印刷や並行印刷、プリンタグループなど、Network Monitor for Client の設定を変更することができます。

■ Windows 95/98/Me の場合

1

- 1 [プリンタ] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- 3 [詳細] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

■ Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合

- 1 [プリンタ] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- 3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

■ Windows XP、Windows Server 2003 の場合

- 1 [プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- 3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

■ Windows Vista の場合の場合

- 1 [プリンタ] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
- 3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

↓ 補足

- 印刷通知、代行印刷 / 並行印刷の設定は拡張機能設定で行います。設定は使用する Network Monitor for Client ポートすべてに有効となります。Network Monitor for Client を起動し、タスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックして [拡張機能設定] を選択してください。
- [代行印刷 / 並行印刷] はポート毎に設定できます。Network Monitor for Client を起動し、タスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックして [拡張機能設定] を選択し、[代行 / 並行印刷をポート毎に設定する] にチェックを付けます。
- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。
- 設定方法の詳細は、『ネットワークガイド』『Network Monitor for Client を使う』または Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

📖 参照

- 『ネットワークガイド』『Network Monitor for Client を使う』

Standard TCP/IP ポートを使う

Standard TCP/IP ポートを使用する場合の、インストール方法について説明します。

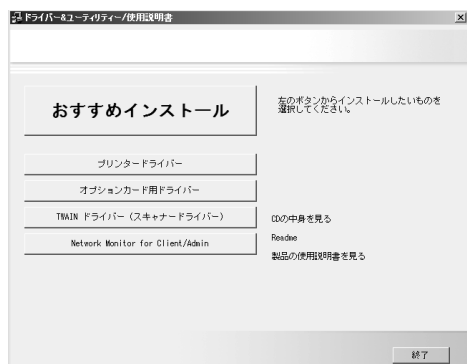
★ 重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- IPv6 の環境では、Standard TCP/IP ポートは使用できません。IPv6 の環境で使用する場合は、Network Monitor for Client ポートを使用してください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバーを
チェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 使用する[プリンタ名]をダブルクリックし、プリンターの設定を展開
します。

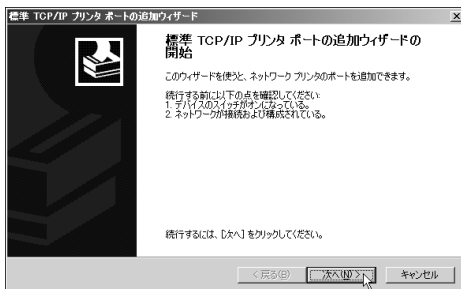
[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。

「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP の設定をしてください。

9 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ]
をクリックします。



10 [プリンタ名または IP アドレス]ボックスにプリンター名または本機のアド
レスを入力し、[次へ] をクリックします。

[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

11 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了]
をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

12 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認
します。

13 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

14 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

15 [完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

16 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

17 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ・ユーザーコードを設定しておく、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

📖 参照

- ・『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

LPR ポートを使う

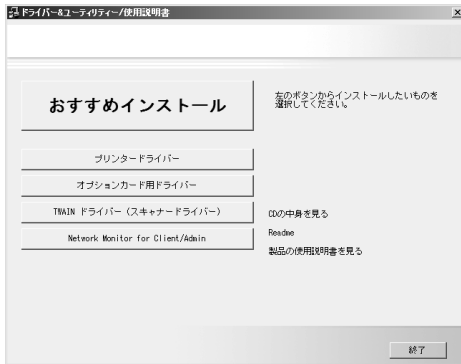
LPR ポートを使用する場合の、インストール方法について説明します。

★ 重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。**2** 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



1

4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバーをチェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 使用する[プリンタ名]をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 [LPR Port] を選択し、[OK] をクリックします。

「LPR Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して組み込んでください。

9 [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、本機のアドレスを入力します。

10 [サーバーのプリンタ名または印刷キュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

11 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

13 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

15 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

16 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておく、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

📖 参照

- 『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

Windows ネットワークプリンターを使う

Windows ネットワークプリンターを使う場合は、RPCS プリンタードライバを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows ネットワーク上の共有プリンターを選択します。

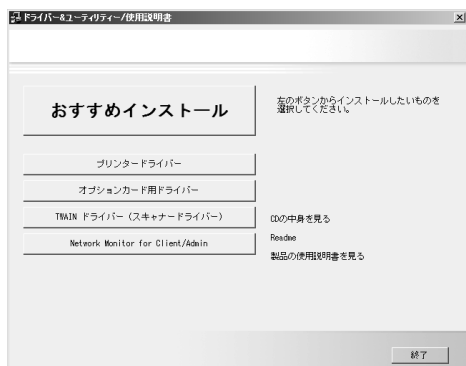
★重要

- ・ ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・ Network Monitor for Client ポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- ・ Windows XP、Windows Server 2003 の共有プリンターの場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。
- ・ 共有プリンターが Windows NT 4.0 の場合は、共有プリンターに接続する前にプリンタードライバをインストールしておいてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバ] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバをチェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

- 6** 使用する【プリンタ名】をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

【コメント：】、【ドライバー：】、【ポート：】は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

- 7** 【ポート：】を選択し、【追加】をクリックします。

- 8** 【ネットワークプリンター】を選択し、【OK】をクリックします。

- 9** ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

- 10** 印刷するプリンターを選択し、【OK】をクリックします。

- 11** 【ポート：】に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

- 12** 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

- 13** 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

- 14** 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、【完了】をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、【はい】または【続行】をクリックし、インストールを続行してください。

- 15** 【コンポーネントの選択】ダイアログに戻り、【完了】をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

- 16** 【導入完了】ダイアログが表示されたら、【完了】をクリックします。

【Windows の再起動】ダイアログが表示されます。【OK】をクリックして、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OSの設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておく、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。
- Windows ネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールを続けることができません。インストールをキャンセルしてから、『ネットワークガイド』『Windows ネットワークプリンターを設定する』を参照して、Windows ネットワークプリンターを設定してください。

📖 参照

- 『こんなときには』『プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき』
- 『ネットワークガイド』『Windows ネットワークプリンターを設定する』

NetWare プリントサーバー、リモートプリンターを使う

1

WindowsをNetWareのクライアントとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

★重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- IPv6 の環境では、NetWare は使用できません。

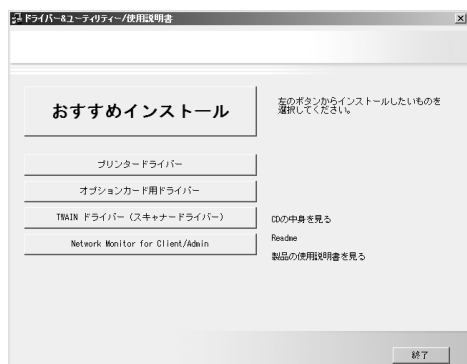
NetWare のファイルサーバーにログインした状態で操作してください。操作例は次の条件で設定しています。

- OS : Windows 98
- NetWare のバージョン : 4.1J
- ファイルサーバーの名前 : CAREE
- キューの名前 : R-QUEUE

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバーをチェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

- 6** 使用する【プリンター名】をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

【コメント：】、【ドライバー：】、【ポート：】は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

- 7** 【ポート：】を選択し、【追加】をクリックします。

- 8** 【ネットワークプリンター】を選択し、【OK】をクリックします。

- 9** ネットワークツリー上で、NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。

作成されているキューが展開されます。

- 10** 印刷するキューをクリックして反転表示させ、【OK】をクリックします。

- 11** 【ポート：】に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

- 12** 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、【完了】をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、【はい】または【続行】をクリックし、インストールを続行してください。

- 13** 【コンポーネントの選択】ダイアログが表示されたら、【完了】をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

- 14** 【導入完了】ダイアログが表示されたら、【完了】をクリックします。

【Windows の再起動】ダイアログが表示されます。【OK】をクリックして、Windows を再起動してください。

- 15** 再起動後、【プリンタ】ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

- 16** 【プリンタ設定】タブ、または【NetWare 設定】タブをクリックします。

- 17** 【フォームフィード】と【バナーの使用】のチェックを両方とも外します。

Windows のプリンタードライバで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）を NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

↓ 補足

- ・機器本体の工場出荷時の設定はプロトコルが無効になっています。操作部、Web Image Monitor または、telnet で有効にしてください。
- ・インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ・プロトコルの設定方法については、『ネットワークガイド』「Web ブラウザを使う」または「telnet を使う」を参照してください。

目 参照

- ・『ネットワークガイド』「Web ブラウザを使う」
- ・『ネットワークガイド』「telnet を使う」

PostScript で印刷するとき

PostScript 3 を含んだモジュールを使って PostScript 印刷するときは、次の設定をします。

- 1** [プリンタ] ウィンドウ、または [プリンタと FAX] ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。
- 2** [PostScript] タブをクリックします。
Windows 2000/XP または、Windows NT 4.0 をお使いの場合は、[デバイス設定] タブをクリックして、手順 **4** にお進みください。
- 3** [詳細設定] をクリックします。
- 4** [ジョブの前に Ctrl+D を送信] と [ジョブの後に Ctrl+D を送信] のドロップダウンメニューから「いいえ」を選択し、[OK] をクリックします。
- 5** [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

フォームフィードの設定

NetWare 上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windows のプリンタドライバで改ページの制御を行っているため、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、使用している OS に応じて以下のように設定します。

- ・Windows 95/98/Me の場合は、プリンタのプロパティの [プリンタ設定] タブで [フォームフィード] のチェックを外します。
- ・Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合は、プリンタのプロパティの [NetWare 設定] タブで [フォームフィード] のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare 上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用している OS に応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Me の場合は、プリンターのプロパティの [プリンタ設定] タブで [バナーの使用] のチェックを外します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合は、プリンターのプロパティの [NetWare 設定] タブで [バナーの使用] のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは 30～40 秒後にいったんプリントサーバーから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これは NetWare の仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバー上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから 2 分程度待って印刷してください。

USB 接続

1

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが、OS 以外のソフトウェアが起動していないことと、印刷を行っていないことを確認してください。

Windows Me と USB で接続する

Windows Me で、USB 接続をしてプリンタードライバーをインストールする方法です。

★重要

- Windows 95/98 は対応していません。Windows Me 以降でご利用いただけます。
- Windows Me をお使いの場合は、Microsoft のホームページから USB Printing Support をダウンロードする必要があります。

USB ケーブルを初めて使用する場合、プラグアンドプレイが働き、[新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。

- 1** 本機の電源が切れていることを確認します。
- 2** Microsoft のホームページから USB Printing Support をダウンロードして、お使いのパソコンに保存します。
保存先は、わかりやすい場所にしてください。
- 3** 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 4** 本機の電源を入れます。
プラグアンドプレイが働き、[新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。
- 5** [次へ] をクリックします。
- 6** [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 7** [検索場所の指定] をチェックし、[参照] をクリックします。
[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。
- 8** USB Printing Support を保存した場所を選択し、[次へ] をクリックします。
- 9** 表示されている [ドライバのある場所] を確認し、[次へ] をクリックします。
USB Printing Support がインストールされ、メッセージが表示されます。

10 [完了] をクリックします。

ご使用の機器のプリンタードライバがすでにインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

11 続いてプリンタードライバをインストールします。[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。**12** [検索場所の指定] をチェックし、[参照] をクリックします。

[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。

13 パソコンの CD-ROM ドライブに同梱の CD-ROM を挿入します

オートランでインストーラーが起動しますので、[終了] をクリックしてください。

14 プリンタードライバの場所を選択し、[次へ] をクリックします。

プリンタードライバの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D:¥ の場合「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME」です。

15 表示されている [ドライバのある場所] を確認し、[次へ] をクリックします。

プリンターの追加ウィザードが表示されます。

16 [完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- ・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・USB Printing Support をインストール後に別のプリンターを USB インターフェースで接続する場合、あらためて USB Printing Support をインストールする必要はありません。
- ・プリンタードライバをインストールしていない場合は、USB Printing Support のインストールに続き、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、プリンタードライバをインストールします。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

🔍 参照

- ・『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

Windows 2000 と USB で接続する

Windows 2000 で、USB 接続をしてプリンタードライバーをインストールする方法です。

★重要

- ・管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows 2000 の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 2 [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。
- 3 [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[次へ] をクリックします。
- 4 [デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 5 [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 6 キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。
CD-ROM のオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。
- 7 [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。
インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D:¥ の場合「D:¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1」です。
- 8 [製造元のファイルのコピー元] にプリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。
- 9 [次へ] をクリックします。
- 10 プリンタードライバーのインストールが開始されます。
インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

// [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を[印刷するポート]に指定したプリンターが[プリンタ]ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- ・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

📖 参照

- ・『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

Windows XP、Windows Server 2003 と USB で接続する

Windows XP、Windows Server 2003 で、USB 接続でのプリンタードライバのインストール方法です。

★ 重要

- ・管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示され、Windows の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ]フォルダに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に付属の CD-ROM からプリンタードライバをインストールします。

- 1** 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 2** [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。
- 3** [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で [一覧または特定の場所からインストールする (推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 4** キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機の付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。
CD-ROM のオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。

5 [次の場所で最適のドライバを検索する]の[次の場所を含める]をチェックし、[参照]をクリックしてプリンタードライバの場所を指定します。インストールするプリンタードライバの収録フォルダは、CD-ROMドライブがD:¥の場合「D:¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1」です。

6 プリンタードライバの場所が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

7 プリンタードライバのインストールが開始されます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい]または[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

8 [完了]をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を[印刷するポート]に指定したプリンターが[プリンタ]ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- ・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

目 参照

- ・『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

Windows Vista と USB で接続する

Windows Vista で、USB 接続でのプリンタードライバのインストール方法です。

★重要

- ・管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。ご使用の機器のプリンタードライバがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバをインストールします。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されます。

2 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は [続行] をクリックします。

[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

3 [オンラインで検索しません] をクリックします。

本機に付属している CD-ROM の挿入を促すメッセージが表示されます。

4 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

自動的に検索が始まり、プリンタードライバの一覧が表示されます。

5 本機の RPCS プリンタードライバを選択し、[次へ] をクリックします。

インストールの途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」というメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

6 [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

↓補足

- ・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してください。

パラレル接続

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCS プリンタードライバーを「ローカルポート」に指定してインストールします。

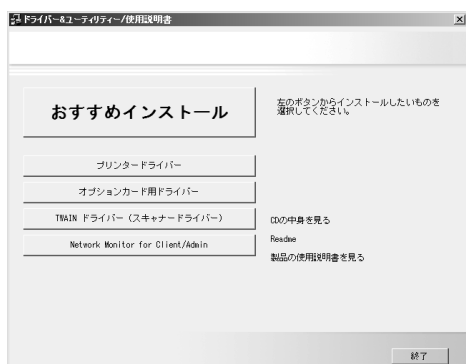
★重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバーをチェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 使用する [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

9 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

10 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

11 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

12 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[Windows の再起動] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、Windows を再起動してください。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておく、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』を参照してインストールし直してください。

参照

- 『こんなときには』『プリンタードライバのインストール中にメッセージが表示されたとき』

オプション構成の設定

1

双方向通信が働いていない場合は、本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定してください。

↓ 補足

- ・本体オプションを設定する方法は、「双方向通信が働かない場合」を参照してください。

📖 参照

- ・P67 「双方向通信が働かない場合」

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からも本機の状態を確認することができます。双方向通信が働く条件についての説明です。

◆ ネットワーク接続の場合

- ・ Network Monitor for Client がインストールされている、または標準 TCP/IP ポートが使用されている（標準 TCP/IP ポート名を変更しないで使用している）
- ・ Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、RPCS プリンタードライバーの [ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] が選択されており、[プリンタプールを有効にする] が選択されていない

標準 TCP/IP ポートを使用しない場合、上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- ・ Network Monitor for Client ポートを使用し、プロトコルに TCP/IP を使っている
- ・ Microsoft TCP/IP 印刷で IP アドレスを指定して使用している (Windows NT 4.0 の場合)

◆ ローカル接続の場合

- ・ パソコンが双方向通信に対応している
- ・ プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- ・ 本機の平行コネクタとパソコンの平行コネクタが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- ・ 本機の USB インターフェースコネクタとパソコンの USB コネクタが、USB ケーブルで接続されている (Windows Me/2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合)

↓ 補足

- ・ Network Monitor for Client は本機に付属の CD-ROM からインストールしてください。

双方向通信が働かない場合

双方向通信が働かない場合は、手動で本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定します。

★重要

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合、[プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Windows NT 4.0 の場合、[プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [プリンタ] ウィンドウを開きます。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合は [プリンタと FAX] ウィンドウを開きます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

4 [オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブをクリックします。

[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。

6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] にチェックを付けます。

7 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

2. プリンタードライバー画面と設定方法

プリンタードライバー画面の説明と、設定方法について説明します。

2 種類の操作画面

2

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の2つの表示タイプがあります。

本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方について詳しくはヘルプの「プリンタードライバーのウィンドウタイプを切り替える」を参照してください。

◆ 機能別ウィンドウ

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に向いているウィンドウタイプです。



◆ ワンクリック設定

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方に向いているウィンドウタイプです。



ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。

Windows 95/98/Me の場合

Windows 95/98/Me で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows 95/98/Me で【プリンタ】ウィンドウからプロパティを表示する

【プリンタ】ウィンドウから、プリンタードライバーの設定画面を表示させると、アプリケーションから印刷するときの初期値を設定できます。

【プリンタ】ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、【全般】または【情報】、【詳細】、【色の管理】、【共有】、【基本】、【編集】、【仕上げ】、【表紙／合紙】、【その他】、【印刷品質】、【初期設定】、【応用設定】、【ユーティリティー】タブが表示されます。



【全般】または【情報】、【詳細】、【色の管理】、【共有】タブは Windows 95/98/Me が追加するタブで、Windows 95/98/Me の機能に関する設定を行います。ただし、Windows 95 をお使いの場合、【色の管理】タブは表示されません。

【基本】、【編集】、【仕上げ】、【その他】、【印刷品質】、【初期設定】、【応用設定】、【ユーティリティー】タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 【スタート】ボタンをクリックし、【設定】をポイントし、【プリンタ】をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、【ファイル】メニューの【プロパティ】をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 95/98/Me でアプリケーションからプロパティを表示する

アプリケーションから、プリンタードライバの設定画面を表示させると、印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をします。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙 / 合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[応用設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。

2



[プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

ここでは Windows 98 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、このダイアログで指定できます。

2 本機を選択し、[プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

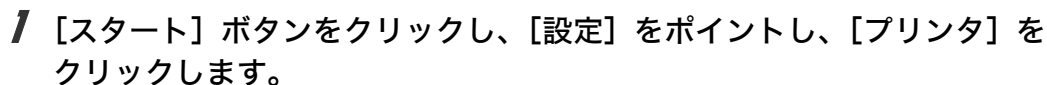
↓ 補足

- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する

★重要

- [プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



↓ 補足

- ・ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する

2

[プリンタ] ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバの設定画面を表示する方法です。

★ 重要

- ・印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
 - ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙／合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。
印刷設定が表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows 2000 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[全般]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙／合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。



[全般] タブは Windows 2000 が追加するタブで、Windows 2000 の機能に関する設定を行います。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブには [プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。

印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、[全般] プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 本機を選択し、右クリックして表示されるドロップダウンメニューから [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ・アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ・実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ・アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

Windows XP、Windows Server 2003 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows XP、Windows Server 2003 で【プリンタとFAX】ウィンドウからプロパティを表示する

【プリンタとFAX】ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★重要

- ・Windows XP Professional および Windows Server 2003 でご使用の場合、プリンタのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・プリンタのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタプロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

【プリンタとFAX】ウィンドウからプリンタのプロパティを表示させると、Windows XP では【全般】、【共有】、【ポート】、【詳細設定】、【色の管理】、【オプション構成の変更／給紙トレイ設定】、【応用設定】タブが表示されます。

Windows Server 2003 では【全般】、【共有】、【ポート】、【詳細設定】、【色の管理】、【セキュリティ】、【オプション構成の変更／給紙トレイ設定】、【応用設定】タブが表示されます。



【全般】、【共有】、【ポート】、【詳細設定】、【色の管理】、【セキュリティ】タブは Windows XP、Windows Server 2003 が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003 の機能に関する設定を行います。

【オプション構成の変更／給紙トレイ設定】、【応用設定】タブはプリンタに関する設定を行うタブです。

1 タスクバーの【スタート】ボタンから、【プリンタと FAX】 ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、【ファイル】メニューの【プロパティ】をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

2

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 で【プリンタと FAX】 ウィンドウから印刷設定を表示する

【プリンタと FAX】 ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★ 重要

- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
 - アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- 【プリンタと FAX】 ウィンドウから印刷設定を表示させると、【基本】、【編集】、【仕上げ】、【表紙／合紙】、【その他】、【印刷品質】、【初期設定】、【ユーティリティ】タブが表示されます。



これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 タスクバーの【スタート】ボタンから、【プリンタと FAX】 ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、【印刷設定】をクリックします。
印刷設定が表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 でアプリケーションからプロパティを表示する

2

Windows XP、Windows Server 2003 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙／合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



これらのタブには [プリンタと FAX] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

2 本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ・アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ・実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ・アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista の場合

Windows Vista で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows Vista で「プリンタ」ウィンドウからプロパティを表示する

「プリンタ」ウィンドウから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★重要

- ・プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows Vista では「全般」、「共有」、「ポート」、「詳細設定」、「色の管理」、「セキュリティ」、「オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定」、「応用設定」タブが表示されます。



「全般」、「共有」、「ポート」、「詳細設定」、「色の管理」、「セキュリティ」タブは Windows Vista が追加するタブで、Windows Vista の機能に関する設定を行います。「オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定」、「応用設定」タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

- 1 タスクバーの「スタート」ボタンから、「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。
- 2 「ハードウェアとサウンド」カテゴリの中から、「プリンタ」をクリックします。
- 3 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows Vista で【プリンタ】ウィンドウから印刷設定を表示する

[プリンタ] ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバの設定画面を表示させる方法です。

★重要

- ・印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
 - ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙 / 合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



これらのタブはプリンタードライバの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

- 1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[コントロールパネル] ウィンドウを表示します。
- 2 [ハードウェアとサウンド] カテゴリの中から、[プリンタ] をクリックします。
- 3 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] をクリックします。
印刷設定が表示されます。

↓ 補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- 設定方法については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows Vista でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows Vista で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙/合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



これらのタブには [プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows Vista に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

2 本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

↓ 補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、標準ユーザーでも変更することができます。
- お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- 設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 の場合

Windows NT 4.0 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティ表示する

2

[プリンタ] ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

★重要

- ・プリンターのプロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
 - ・プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
 - ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- [プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[ポート]、[スケジュール]、[共有]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



[全般]、[ポート]、[スケジュール]、[共有]、[セキュリティ] タブは Windows NT 4.0 が追加するタブで、Windows NT 4.0 の機能に関する設定を行います。

[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの[プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

2

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからドキュメントの既定値を表示する

[プリンタ] ウィンドウのドキュメントの既定値から、プリンタードライバの設定画面を表示する方法です。

★重要

- ・ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタ] ウィンドウからドキュメントの規定値を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙／合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [ドキュメントの既定値] をクリックします。
ドキュメントの既定値が表示されます。

↓補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows NT 4.0 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[表紙／合紙]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。



[プリンタ] ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows NT 4.0 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。

2 本機を選択し、[プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。
- ・ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ・アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ・実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ・アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. いろいろな印刷

PDF ファイルの直接印刷や試し印刷、機密印刷、保留文書印刷、および保存文書印刷について説明します。

コマンドを使用する

3

UNIX から、ftp、sftp、lpr などのコマンドを使用して、PDF ファイルを直接印刷できます。詳しくは、『ネットワークガイド』「UNIX で使う」を参照してください。

 参照

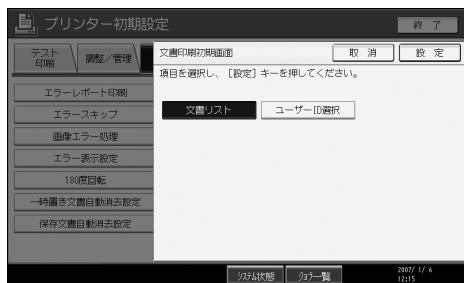
- 『ネットワークガイド』「UNIX で使う」

文書印刷機能を使用する

本機に蓄積された文書を印刷する、文書印刷機能について説明します。

文書印刷機能では、あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクに蓄積された、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書および保存文書の印刷、または削除ができます。

試し印刷文書、機密印刷文書および保留文書は、文書印刷機能で指示された印刷が終了すると蓄積されていた文書は消去されます。保存文書は、印刷が終了しても消去されません。プリンター初期画面の「文書印刷」を押すと、文書を選択する画面が表示されます。文書を選択する画面は、文書一覧画面とユーザー ID 一覧画面の 2 種類あり、最初に表示される画面を、文書一覧画面またはユーザー ID 一覧画面のどちらかにするかを設定できます。



◆ 文書一覧画面

「プリンター初期設定」の「システム設定」で、「文書印刷初期画面」を「文書リスト」に設定すると、「文書印刷」を押したときに次の画面が表示されます。



1 [ユーザー ID 別文書]

ユーザー ID 選択画面に表示を切り替えます。

切り替わったユーザー ID 一覧画面の右下に表示される「戻る」を押すと、文書一覧画面に切り替わります。

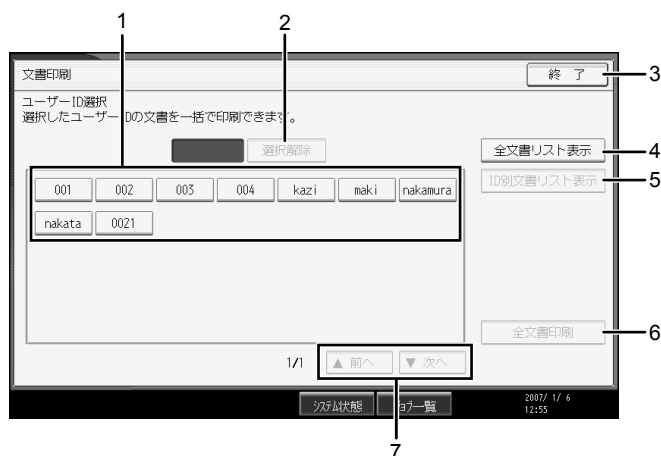
2 [全種類表示]

蓄積されているすべての文書を表示します。セキュリティの設定によってはすべての文書が表示されない場合があります。

- 3 [機密印刷文書表示]
蓄積されている機密印刷文書だけを表示します。セキュリティの設定によってはすべての文書が表示されない場合があります。
- 4 [試し印刷文書表示]
蓄積されている試し印刷文書だけを表示します。セキュリティの設定によってはすべての文書が表示されない場合があります。
- 5 [保留印刷文書表示]
蓄積されている保留印刷文書だけを表示します。セキュリティの設定によってはすべての文書が表示されない場合があります。
- 6 [保存文書表示]
蓄積されている保存文書だけを表示します。セキュリティの設定によってはすべての文書が表示されない場合があります。
- 7 [詳細表示]
選択している文書の詳細情報を表示します。
- 8 [▲前へ] / [▼次へ]
文書一覧が一画面に収まらない場合は、一覧をスクロールすることができます。
- 9 [消去]
選択している文書を消去します。
- 10 [印刷継続]
選択している文書を印刷します。
- 11 [パスワード変更]
選択している文書にパスワードが設定されている場合に、そのパスワードを変更できます。また、パスワードの設定が可能でパスワード設定がされていない文書に、パスワードを設定することもできます。保存文書に対しては、設定されているパスワードを削除することも可能です。
パスワードを変更・削除する場合は、元のパスワードが必要です。元のパスワードを知らない場合は変更・削除はできません。
- 12 [選択全解除]
すべての選択を取り消します。
- 13 [全ジョブ選択]
表示されているすべての文書を選択します。
- 14 選択数表示
選択している文書数を表示します。
- 15 [終了]
プリンター画面に戻ります。
- 16 ユーザー ID / 日時 / 文書名
ユーザー ID には、プリンタードライバーで設定したユーザー ID が表示されます。
日時には、パソコンから印刷を指示した時刻が表示されます。
文書名には、文書名が表示されます。

◆ ユーザー ID 一覧画面

〔プリンター初期設定〕の〔システム設定〕で、〔文書印刷初期画面〕を〔ユーザー ID 選択〕に設定すると、〔文書印刷〕を押したときに次の画面が表示されます。



ATV009S

1 ユーザー ID

蓄積されている文書のユーザー ID 一覧を表示します。

2 [選択解除]

選択を取り消します。

3 [終了]

プリンター画面に戻ります。

4 [全文書リスト表示]

文書一覧画面の表示に切り替えます。

5 [ID 別文書リスト表示]

選択したユーザー ID の文書一覧を表示します。

6 [全文書印刷]

選択したユーザー ID のすべての文書を印刷します。同じユーザーが異なる種類の文書を蓄積している場合は、印刷する文書の種類を選択することができます。

7 [▲前へ] / [▼次へ]

ユーザー ID 一覧が一画面に収まらない場合は、一覧をスクロールすることができます。

↓ 補足

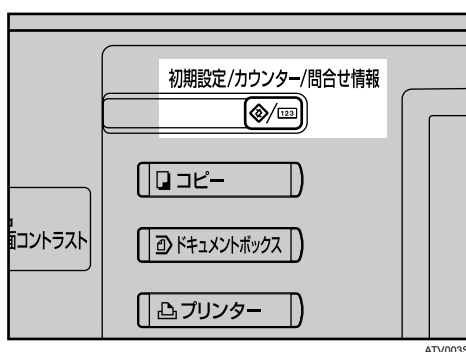
- ・文書選択画面では、複数の文書を選択することができます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文書をもう一度押します。
- ・文書一覧やユーザー ID 一覧を表示しているときに新たに文書が蓄積された場合、表示は更新されません。表示を更新するには、いったん〔終了〕を押してプリンター画面に戻ってから、もう一度〔文書印刷〕を押してください。
- ・本機に多くの文書を蓄積・保存している場合は、お使いの機能によっては機器の反応が一時的に遅くなることがあります。

[文書印刷初期画面] を表示する

文書印刷初期画面の設定方法と、文書選択画面の表示方法について説明します。

■ 文書印刷初期画面を設定する

- 1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



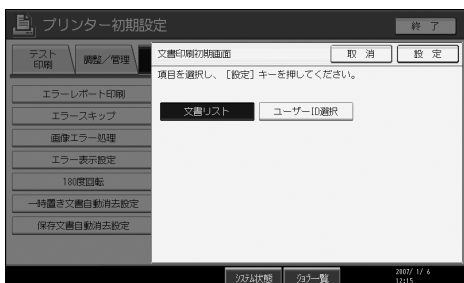
ATV003S

- 2 [プリンター初期設定] を押します。



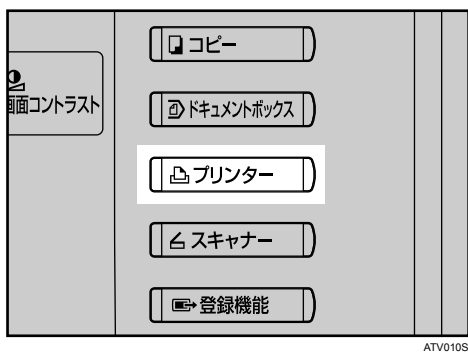
- 3 [システム設定] タブを押し、[文書印刷初期画面] を押します。

- 4 [文書リスト] または [ユーザー ID 選択] を押し、[設定] を押します。

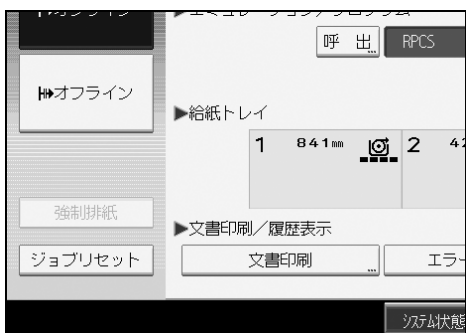


■ 文書一覧画面、またはユーザー ID 一覧画面を表示する

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。



2 [文書印刷] を押します。



文書一覧画面、またはユーザー ID 一覧画面が表示されます。

文書一覧画面から文書を印刷する

試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷について説明します。

試し印刷する

複数部数印刷する場合など、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認した後に操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷することができます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスのプリントを防ぐことができます。

★重要

- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が 100 ジョブのときに、送信された 101 番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - 1 文書あたり 1,000 ページを超える文書
 - 送信した文書が、本機に蓄積されている文書と保存文書の総ページ数と合わせて 3,000 ページを超える場合（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

■ 1 部目を印刷する

- 1 試し印刷する文書に印刷指示をします。
- 2 プリンタードライバーのプロパティの【基本】タブで、【印刷方法】から【試し印刷】を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、【印刷機能】タブをクリックします。
- 3 【印刷方法の詳細】をクリックします。
「印刷方法の詳細」の画面が表示されます。
- 4 【ユーザー ID】を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 5 【OK】をクリックします。
- 6 印刷の指示をします。
1 部目が印刷され、本機に文書が蓄積されます。
- 7 印刷結果を確認し、操作部から 2 部目以降を印刷するか消去するかを指示します。

補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源を「Off」にしても、蓄積された試し印刷文書は消去されずに残りますが、[一時置き文書自動消去設定] や [保存文書自動消去設定] が優先されます。詳しくは、『初期設定編』「プリンター初期設定」を参照してください。

参照

- 『初期設定編』「プリンター初期設定」

3

2 部目以降を印刷する

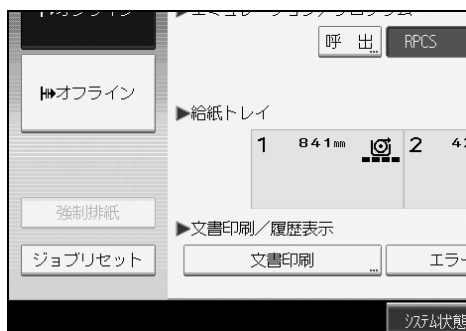
試し印刷で、2 部目以降を印刷する方法です。ここでは、[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。



3 [試し印刷文書表示] を押します。



本機に蓄積されている試し印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

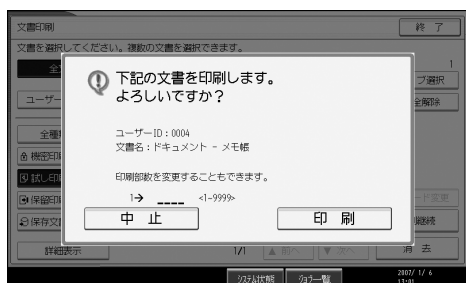
4 印刷したい文書を押して反転表示させます。



複数の文書を選択することができます。選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

5 [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。印刷部数を変更する場合は、テンキーで部数を入力します。



6 [印刷] を押します。

2 部目以降が印刷されます。

補足

- 複数の文書を選択した場合は、確認画面に印刷される文書数が表示されます。
- 複数の文書を選択し、確認画面で部数を指定しなかった場合は、設定した中でもっとも少ない部数より 1 部少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。設定した部数の中でもっとも少ない部数が 1 の場合は、すべての文書が 1 部ずつ印刷されます。
- 部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。
- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 2 部目以降の印刷中に [ジョブリセット] を押すと、印刷を中止することができます。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 他のジョブがある場合は、そのジョブの終了後に印刷されます。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、印刷を中止してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

試し印刷文書を消去する

試し印刷の内容を確認し、2 部目以降を印刷しない場合は、本機に蓄積されている文書を消去します。

1 **【プリンター】** キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 **【文書印刷】** を押します。

3 **【試し印刷文書表示】** を押します。

本機に蓄積されている試し印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4 **消去したい文書を押して反転表示させます。**

複数の文書を選択することができます。選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

5 **【消去】** を押します。

消去の確認画面が表示されます。

6 **【消去する】** を押します。

文書が消去されます。



- ・消去を取りやめる場合は、**【消去しない】** を押します。
- ・複数の文書を選択した場合は、確認画面に消去される文書数が表示されます。

機密印刷する

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効な機能です。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷することができます。機密印刷を使うと本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。



- ・以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - ・本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が 100 ジョブのときに、送信された 101 番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - ・1 文書あたり 1,000 ページを超える文書
 - ・送信した文書が、本機に蓄積されている文書と保存文書の総ページ数と合わせて 3,000 ページを超える場合（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

■プリンターに文書データを送る

- 1 機密印刷する文書に印刷指示をします。
- 2 プリンタードライバのプロパティの「基本」タブで、「印刷方法」から「機密印刷」を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、「印刷機能」タブをクリックします。
- 3 「印刷方法の詳細」をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 4 「ユーザー ID」を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 5 「パスワード」を半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。
- 6 「OK」をクリックします。
パスワードの確認画面が表示されます。
- 7 パスワードを再度入力して、「OK」をクリックします。
- 8 印刷の指示をします。
本機に文書が蓄積されます。
- 9 操作部でパスワードを入力し、印刷するか消去するかを指示します。

補足

- ここでは RPCS プリンタードライバを使用した場合の説明をしています。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源を「Off」にしても、蓄積された機密印刷文書は消去されずに残りますが、「一時置き文書自動消去設定」や「保存文書自動消去設定」が優先されます。詳しくは、『初期設定編』「プリンター初期設定」を参照してください。

参照

- 『初期設定編』「プリンター初期設定」

操作部を使って機密印刷する

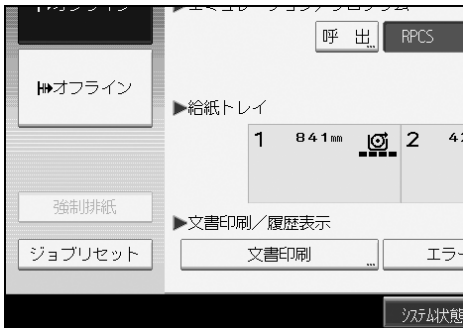
ここでは、[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

★重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。



3 [機密印刷文書表示] を押します。



本機に蓄積されている機密印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4 印刷したい文書を押して反転表示させます。

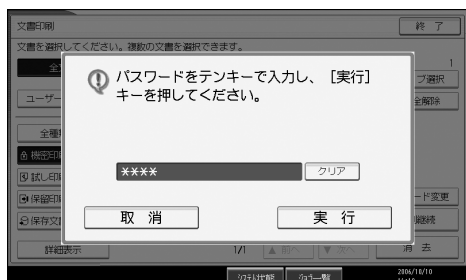


複数の文書を選択することができます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文書をもう一度押します。

5 [印刷継続] を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

6 テンキーでパスワードを入力し、[実行] を押します。



印刷の確認画面が表示されます。入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されますので[確認]を押して、再度入力します。

7 [印刷] を押します。

機密印刷文書が印刷されます。

↓ 補足

- 複数の文書を選択した場合は、パスワードが一致した文書だけが印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。
- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 印刷開始後に[ジョブリセット]を押すと、印刷を中止することができます。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、印刷を中止してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

機密印刷文書を消去する

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。

3 [機密印刷文書表示] を押します。

本機に蓄積されている機密印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4 消去したい文書を押して反転表示させます。

5 [消去] を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

6 テンキーでパスワードを入力し、[実行] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

7 [消去する] を押します。

文書が消去されます。

↓ 補足

- ・ 消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。
- ・ 入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されますので [確認] を押して、再度入力します。
- ・ 複数の文書を選択した場合は、パスワードが一致した文書だけが消去の対象になります。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

保留文書を印刷する

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷を行います。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。

★ 重要

- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が 100 ジョブのときに、送信された 101 番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - 1 文書あたり 1,000 ページを超える文書
 - 送信した文書が、本機に蓄積されている文書と保存文書の総ページ数と合わせて 3,000 ページを超える場合（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

3

■ プリンターに文書データを送る

- 1 保留印刷文書で印刷する文書に印刷指示をします。
- 2 プリンタードライバのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] から [保留印刷] を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。
- 3 [印刷方法の詳細] をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 4 [ユーザー ID] を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 5 印刷の指示をします。
文書が本機に蓄積されます。

↓ 補足

- ここでは RPCS プリンタードライバを使用した場合の説明をしています。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源を「Off」にしても、蓄積された保留印刷文書は消去されずに残りますが、[一時置き文書自動消去設定] や [保存文書自動消去設定] が優先されます。詳しくは、『初期設定編』「プリンター初期設定」を参照してください。
- 保留文書には文書名が設定できます。ただし、必須ではありません。

E 参照

- 『初期設定編』「プリンター初期設定」

操作部を使って保留文書を印刷する

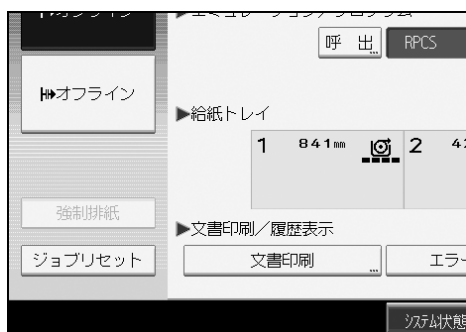
ここでは、[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

★重要

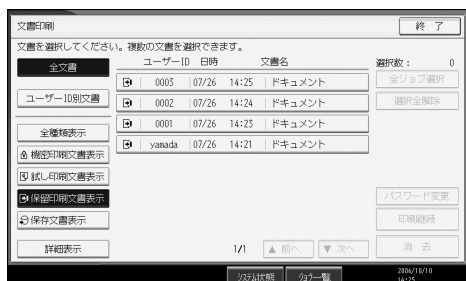
- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。



3 [保留印刷文書表示] を押します。



本機に蓄積されている保留印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4 印刷したい文書を押して反転表示させます。



複数の文書を選択することができます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文章をもう一度押します。

5 [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

6 [印刷] を押します。

保留文書が印刷されます。

↓ 補足

- 複数の文書を選択した場合は、確認画面に印刷される文書数が表示されます。
- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 保留印刷文書として蓄積された文書を印刷するときに、部数の変更はできません。
- 印刷開始後に [ジョブリセット] を押すと、印刷を中止することができます。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、印刷を中止してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

3

保留印刷文書を消去する

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。

3 [保留印刷文書表示] を押します。

本機に蓄積されている保留印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4 消去したい文書を押して反転表示させます。

5 [消去] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

6 [消去する] を押します。

文書が消去されます。

↓ 補足

- 消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。
- 複数の文書を選択した場合は、確認画面に消去される文書数が表示されます。

保存文書を印刷する

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷を行います。印刷終了後にも文書が消去されない
ので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

★重要

- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が 100 ジョブのときに、送信された 101 番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - 1 文書あたり 1,000 ページを超える文書
 - 送信した文書が、本機に蓄積されている文書と保存文書の総ページ数と合わせて 3,000 ページを超える場合（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

■プリンターに文書データを送る

1 保存文書にする文書に印刷指示をします。

2 プリンタードライバのプロパティの【基本】タブで、【印刷方法】から【プリンターに保存する】または【プリンターに保存して印刷】を選択します。

- 【プリンターに保存して印刷】を選択した場合は、1 部目をすぐに印刷し、本機にも文書を蓄積します。
- 【プリンターに保存する】を選択した場合は、本機に蓄積のみ行い、後から本機の操作部で印刷します。
- 「ワンクリック設定」を選択しているときは、【印刷機能】タブをクリックします。

3 【印刷方法の詳細】をクリックします。

「印刷方法の詳細」画面が表示されます。

4 【ユーザー ID】を半角英数字 8 文字以内で入力します。

5 【OK】をクリックします。

6 印刷の指示をします。

本機に文書が蓄積されます。

補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源を「Off」にしても、蓄積された保存印刷文書は消去されずに残りますが、[一時置き文書自動消去設定] や [保存文書自動消去設定] が優先されます。詳しくは、『初期設定編』「プリンター初期設定」を参照してください。
- 保存文書には文書名とパスワードを設定できます。ただし、どちらも必須ではありません。パスワードの設定方法についてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

- 『初期設定編』「プリンター初期設定」

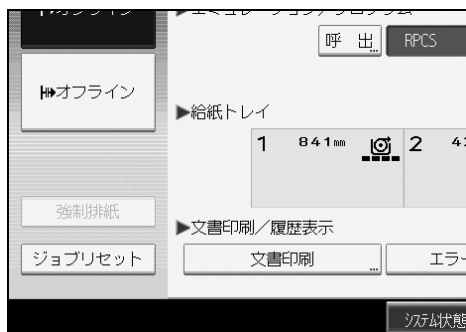
3

操作部を使って保存文書を印刷する

ここでは、[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。



3 [保存文書表示] を押します。



蓄積されている保存文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間やユーザーID、文書名が表示されます。

4 印刷したい文書を押して反転表示させます。

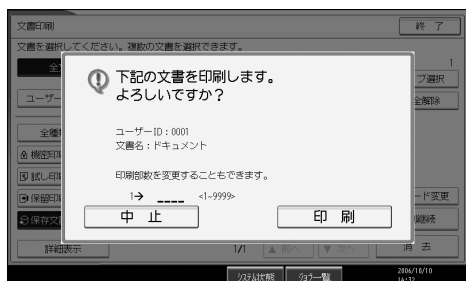


複数の文書を選択することができます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文書をもう一度押します。

5 [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

6 印刷部数を変更する場合は、テンキーで部数を入力します。



7 [印刷] を押します。

保存文書が印刷されます。

印刷が終了しても、保存文書は消去されません。

補足

- 文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- 複数の文書を選択し、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。
- 複数の文書を選択した場合は、設定してある部数中もっとも少ない部数で、印刷対象のすべての文書が印刷されます。
- 部数を変更した場合は、印刷対象のすべての文書が変更した部数で印刷されます。
- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 印刷開始後に [ジョブプリセット] を押すと、印刷を中止することができます。[ジョブプリセット] を押しても、保存文書は消去されません。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、印刷を中止してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

保存文書を消去する

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。

3 [保存文書表示] を押します。

蓄積されている保存文書の一覧が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4 消去したい文書を押して反転表示させます。

5 [消去] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

6 [消去する] を押します。

文書が消去されます。

補足

- 文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- 複数の文書を選択し、パスワード付きの文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が消去の対象になります。確認画面には、消去される文書数が表示されます。
- 消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。

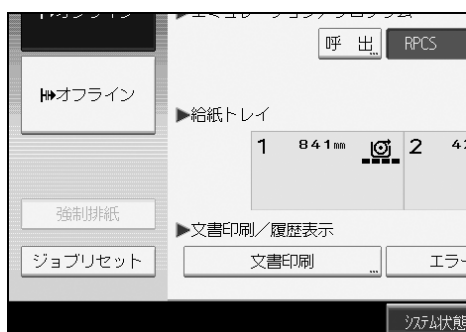
ユーザー ID 一覧から文書を印刷する

ユーザー ID 一覧から文書を選択し、印刷する方法について説明します。

[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [ユーザー ID 選択] に設定すると、文書を蓄積したユーザー ID の一覧から印刷する文書を選択できます。

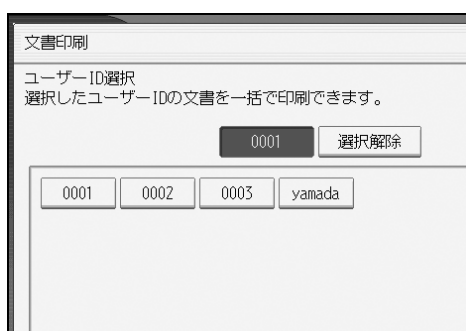
文書を選択して印刷する場合

- 3 **1** [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
- 2** [文書印刷] を押します。



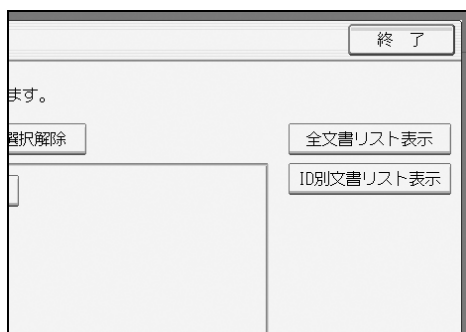
本機に文書を蓄積したユーザーの ID 一覧が表示されます。

- 3** 印刷したいユーザー ID を押します。



複数のユーザー ID を同時に選択することはできません。

4 [ID 別文書リスト表示] を押します。



選択した ID のユーザーが蓄積した文書一覧が表示されます。選択を取りやめる場合は、[選択解除] を押します。

5 印刷する文書を押して反転表示させます。



6 [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

7 [印刷] を押します。

選択した文書が印刷されます。

↓ 補足

- 複数の文書を選択した場合は、確認画面に印刷される文書数が表示されます。

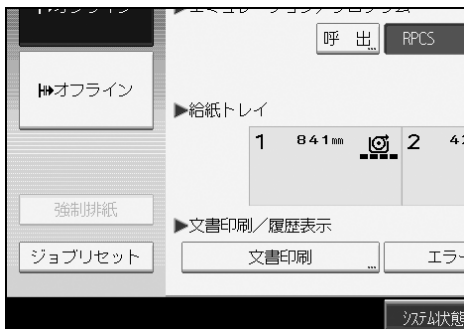
文書をすべて印刷する場合

★重要

・印刷が終了すると、試し印刷、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。

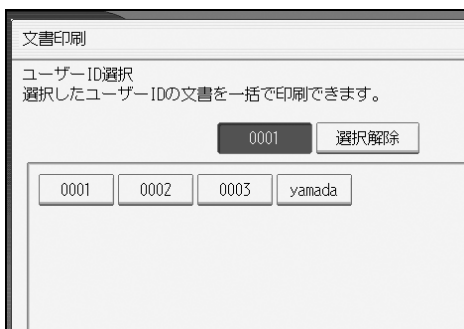
1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [文書印刷] を押します。



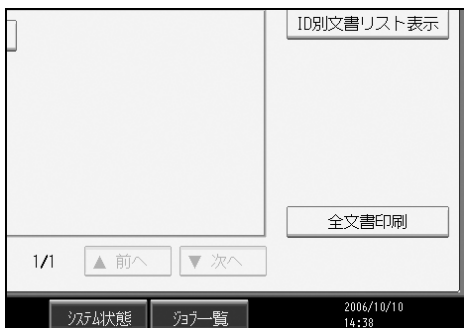
本機に文書を蓄積したユーザーの ID 一覧が表示されます。

3 印刷したいユーザー ID を押します。



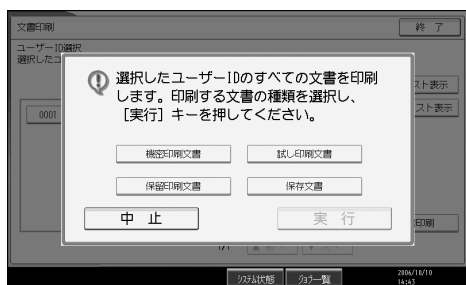
複数のユーザー ID を同時に選択することはできません。

4 [全文書印刷] を押します。



印刷する文書の種類を選択する画面が表示されます。

5 印刷する文書の種類を選択し、[実行] を押します。



印刷の確認画面が表示されます。

選択した ID のユーザーがひとつの種類の文書だけを蓄積していた場合は、この画面は表示されません。

6 [印刷] を押します。

印刷が実行されます。印刷を取りやめる場合は [中止する] を押します。

↓ 補足

- 蓄積されていない種類の文書を選択することはできません。
- 保存文書を選択した場合、印刷の確認画面で印刷部数を指定できます。選択した種類のすべての文書が、指定した部数で印刷されます。部数を指定しなかった場合は、設定した部数中もっとも少ない部数で、すべての文書が印刷されます。
- 複数の文書がある試し印刷文書を選択し、確認画面で部数を指定しなかった場合は、設定した中でもっとも少ない部数より 1 部少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。設定した部数の中でもっとも少ない部数が 1 の場合は、すべての文書が 1 部ずつ印刷されます。
- 機密印刷文書を選択した場合は、パスワード入力画面が表示されます。複数のパスワードが設定してある場合は、パスワードが一致した文書だけが印刷の対象になります。
- 保存文書を選択した場合、蓄積されている保存文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。複数のパスワードが設定してある場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。
- 印刷の確認画面に選択したユーザー ID の該当文書数が表示されます。

印刷を中止する

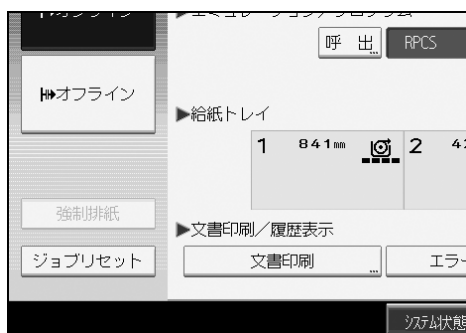
印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

- 1** 印刷を中止したいデータが、現在本機から印刷されているか確認します。
データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。
- 2** 印刷を中止します。
データの印刷状況によって、次のいずれかの操作を行ってください。

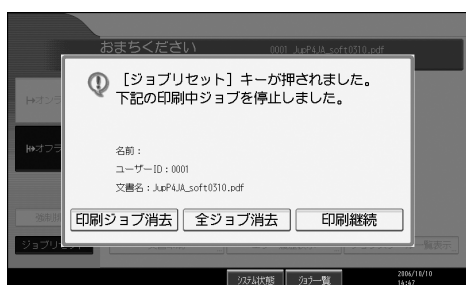
中止したいデータが印刷されている場合

印刷を中止したいデータが印刷されている場合の、操作方法です。

- 1** [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
- 2** [ジョブリセット]、または操作部の[クリア/ストップ]キーを押します。



- 3** 印刷中のジョブを消去するときは[印刷ジョブ消去]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは[全ジョブ消去]を押します。



消去の確認画面が表示されます。

- 4** [消去する] を押します。
文書が消去されます。

↓ 補足

- 印刷を続けるときは、[印刷継続] を押します。
- 消去を取りやめるときは、[消去しない] を押します。
- 印刷を中止し、いったん印刷は中止されたにもかかわらず、データ途中から印刷が再び開始されるときは、[プリンター初期設定] の [インターフェース設定] の [インターフェース切替時間] を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止したいときは、[ジョブリセット] または [クリア/ストップ] キーを押した後、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

中止したいデータが印刷されていない場合

3

印刷を中止したいデータが、まだ印刷されていない場合の操作方法です。

- 1** Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。
- 2** 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。
- 3** [ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。
印刷が中止されます。

↓ 補足

- Windows 95/98/Me では [印刷中止]、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 および Windows NT 4.0 では [キャンセル] をクリックします。
- Windows 95/98/Me では、[プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、[プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- Windows NT 4.0 では、[プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[印刷ドキュメントの削除] を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- 印刷の中止を選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

エラー履歴を確認する

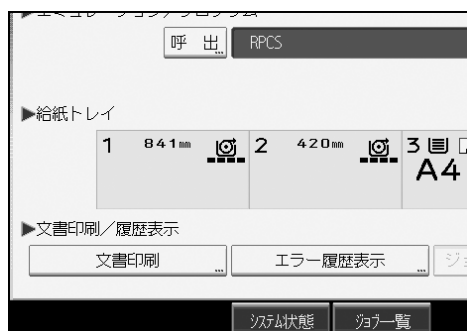
エラーなどにより文書を印刷できなかった場合は、エラー履歴が残り、操作部で確認することができます。

★重要

- ・エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件が蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が次の文書の場合は消去されずに、蓄積エラーとして 30 件まで別に蓄積されます。エラー履歴として、どちらの履歴も確認することができます。
- ・試し印刷文書
- ・機密印刷文書
- ・保留印刷文書
- ・保存文書
- ・主電源を「Off」にすると、それまでの履歴は消去されます。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [エラー履歴表示] を押します。



エラー履歴が表示されます。セキュリティの設定によっては、すべてのエラー履歴が表示されない場合があります。

3 エラー履歴の種類を選びます。

[全種類表示]、[機密印刷文書表示]、[試し印刷文書表示]、[保留印刷文書表示]、[保存文書表示] から選択することができます。

4 確認したいエラー履歴を押して反転表示させ、[詳細表示] を押します。

エラー履歴の詳細が表示されます。

確認し終わったら [終了] を押します。プリンター画面に戻ります。

↓補足

- ・エラー履歴の一覧に戻る場合は、[一覧表示] を押します。
- ・簡単画面表示のときは、[エラー履歴表示] を押すことができません。[簡単画面] キーを押して通常表示に切り替えてから操作してください。

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのと看、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

★重要

- ・スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。
- ・「diprint」「ftp」「IPP」「LPR」「SMB (TCP/IP (IPv4))」「sftp」以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。

◆スプール印刷を設定する

Web ブラウザと telnet で設定できます。

- ・Web ブラウザの場合
詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ・telnet の場合
「spoolsw spool on」で設定します。詳しくは、『ネットワークガイド』「telnet を使う」を参照してください。

◆スプールジョブの一覧を操作部に表示する

スプール印刷が設定されている場合は、スプール中のジョブ一覧を操作部の画面に表示することができます。

[プリンター] キーを押してから [ジョブスプルー覧表示] を押します。スプールされているジョブの一覧が表示されます。

スプール印刷が設定されていない場合は、[ジョブスプルー覧表示] を選ぶことはできません。

- ・スプール中のジョブを削除する場合
削除したい文書を押して反転表示させ、[消去] を押します。

◆Web ブラウザからスプールジョブを閲覧・削除する

Web ブラウザを起動し、URL としてプリンターの IP アドレスを指定すると、Web Image Monitor のトップページが表示されます。

↓補足

- ・一度に最大 150 ジョブまでスプールできます。
- ・スプール印刷をすると、1 ページ目の印刷開始は遅くなります。
- ・プリンターに蓄積されたスプールジョブは、Web ブラウザから閲覧・削除することができます。
- ・詳しくは、『ネットワークガイド』「Web ブラウザを使う」を参照してください。

📖参照

- ・『ネットワークガイド』「telnet を使う」
- ・『ネットワークガイド』「Web ブラウザを使う」

機密管理ナンバリングやスタンプ印字について

印字機能について説明します。文書管理に欠かせない機密管理番号やスタンプをはじめ、日付を印字することができます。

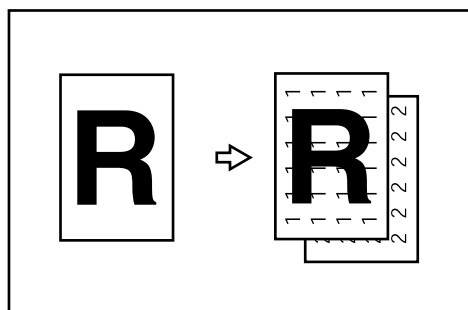
★重要

- ・機密管理印字やスタンプ印字を使用した後に、通常のプリンター機能を使用する場合は、設定した機能を解除してください。
- ・PostScript 3 では、印字機能の設定は無効になります。

3

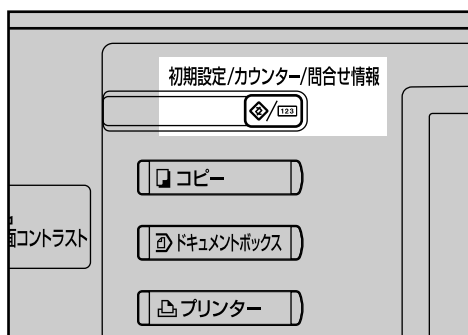
機密管理印字を使用する

機密文書の全面にナンバリングの地紋を印刷します。



AUC005S

1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

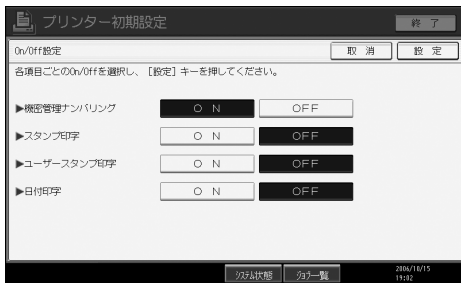


ATV003S

2 [プリンター初期設定] を押します。

3 [印字設定] タブを押し、[On / Off 設定] を押します。

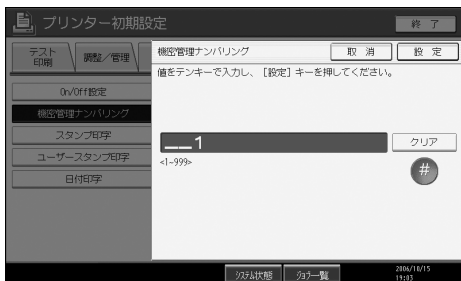
4 「機密管理ナンバリング」を「ON」に設定し、「設定」を押します。



印字設定の選択画面に戻ります。

5 「機密管理ナンバリング」を押します。

6 テンキーで印字を開始する番号を入力します。



印刷を開始する番号は、1～999 の範囲で指定します。

入力を間違えたときは、[クリア/ストップ] キーまたは [クリア] を押して入力し直してください。

7 「設定」を押します。

印字設定の選択画面に戻ります。

8 「初期設定/カウンター/問合せ情報」キーを押します。

通常画面に戻ります。

補足

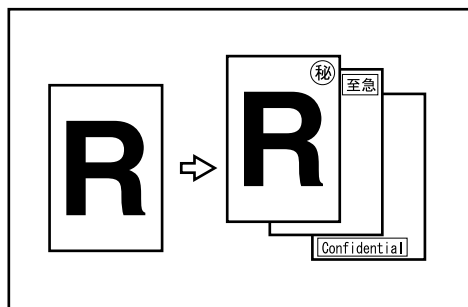
- ・印字する管理番号の濃さや数字のサイズを変更できます。詳しくは、『コピー/ドキュメントボックス機能編』「機密管理ナンバリング」を参照してください。
- ・ソートを指定している場合、各部内で同一の管理番号が印字され、次の部で番号が繰り上がります。たとえば、「開始番号：5」「3部ソート」の場合、1部目の全原稿に「5」が印字され、引き続き、2部目に「6」、3部目に「7」と印字されます。

参照

- ・『コピー/ドキュメントボックス機能編』「機密管理ナンバリング」

スタンプを印字する

あらかじめ登録されているスタンプを印字します。



AUC006S

★重要

- ・スタンプには次の7種類が用意されています。
 - ・マル秘
 - ・回収
 - ・複製厳禁
 - ・至急
 - ・マル仮
 - ・回覧
 - ・CONFIDENTIAL
 - ・DRAFT
- ・印字するページの位置を変更できます。
- ・スタンプは一度に1種類しか印字できません。ただし、ユーザースタンプ1種類と組み合わせで印字することもできます。

1 【初期設定／カウンター／問合せ情報】 キーを押します。

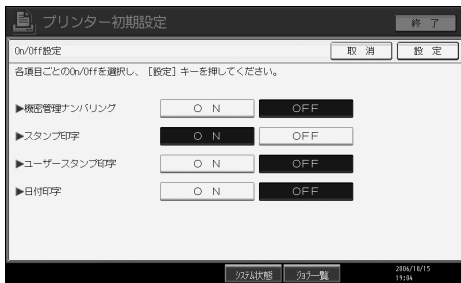


ATV003S

2 【プリンター初期設定】を押します。

3 【印字設定】 タブを押し、【On / Off 設定】を押します。

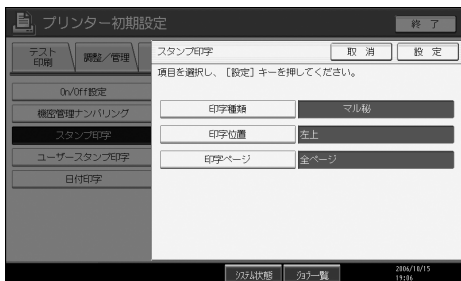
4 [スタンプ印字] を [ON] に設定し、[設定] を押します。



印字設定の選択画面に戻ります。

5 [スタンプ印字] を押します。

6 [印字種類] [印字位置] [印字ページ] を押し、各項目を設定します。



- ・[印字種類] では、スタンプの種類を選択します。
- ・[印字位置] では、スタンプの印字位置を選択します。
- ・[印字ページ] では、[全ページ] を選択すると全ページに、[先頭ページのみ] を選択すると先頭ページだけにスタンプを印字します。

7 [設定] を押します。

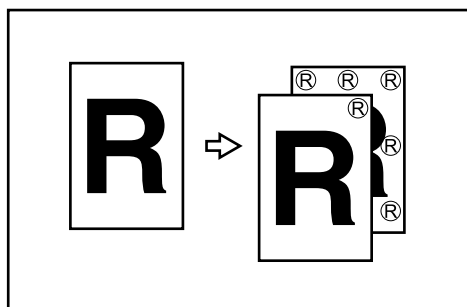
印字設定の選択画面に戻ります。

8 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

ユーザースタンプを印字する

よく使用する文字やマークを登録して、「スタンプ印字」として印字できます。

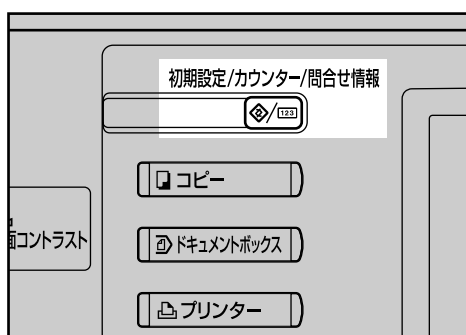


AUC007S

★重要

- ・ユーザースタンプを印字するには、ユーザースタンプの登録が必要です。詳しくは、『コピー／ドキュメントボックス機能編』「ユーザースタンプ印字」を参照してください。
- ・印字するページの位置を変更できます
- ・定型のスタンプ 1 種類と組み合わせて印字することもできます。

1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

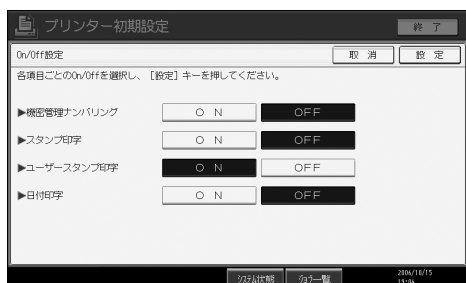


ATV003S

2 [プリンター初期設定] を押します。

3 [印字設定] タブを押し、[On / Off 設定] を押します。

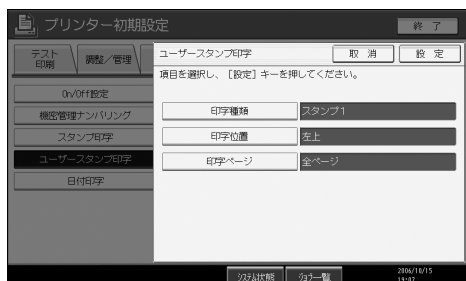
4 [ユーザースタンプ印字] を [ON] に設定し、[設定] を押します。



複数のパスワードが設定してある場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。
印字設定の選択画面に戻ります。

5 [ユーザースタンプ印字] を押します。

6 [印字種類] [印字位置] [印字ページ] を押し、各項目を設定します。



- ・[印字種類] では、登録したスタンプの種類を選択します。
- ・[印字位置] では、スタンプの印字位置を選択します。
- ・[印字ページ] では、[全ページ] を選択すると全ページに、[先頭ページのみ] を選択すると先頭ページだけにスタンプを印字します。

7 [設定] を押します。

印字設定の選択画面に戻ります。

8 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

参照

- ・『コピー/ドキュメントボックス機能編』『ユーザースタンプ印字』

日付を印字する

日付は以下のような書式で印字することができます。

例) 2006 年 10 月 6 日

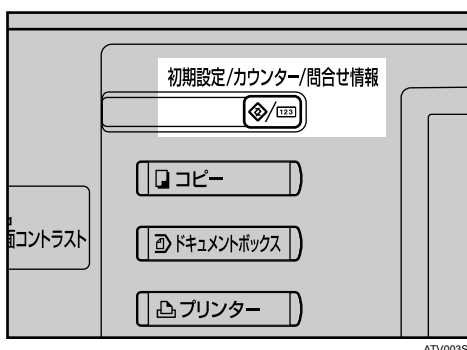
- 2006.10.06
- 2006 年 10 月 6 日
- 06.OCT.2006
- 10/06/2006
- 10.06.2006
- 06/10/2006
- 06.10.2006

3

★重要

- 印字するページの位置を変更できます。

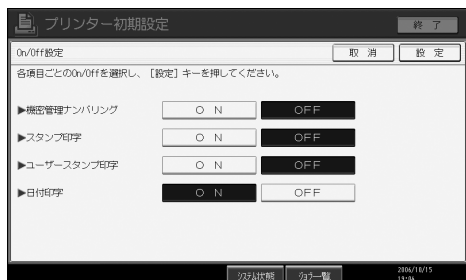
1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2 [プリンター初期設定] を押します。

3 [印字設定] タブを押し、[On / Off 設定] を押します。

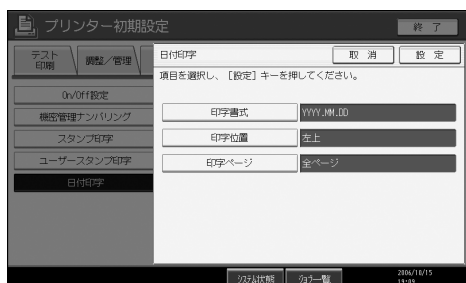
4 [日付印字] を [ON] に設定し、[設定] を押します。



印字設定の選択画面に戻ります。

5 [日付印字] を押します。

6 [印字書式] [印字位置] [印字ページ] を押し、各項目を設定します。



- ・[印字書式] では、印字する日付の書式を選択します。
- ・[印字位置] では、日付の印字位置を選択します。
- ・[印字ページ] では、[全ページ] を選択すると全ページに、[先頭ページのみ] を選択すると先頭ページだけに日付を印字します。

7 [設定] を押します。

印字設定の選択画面に戻ります。


8 [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

ソートについて

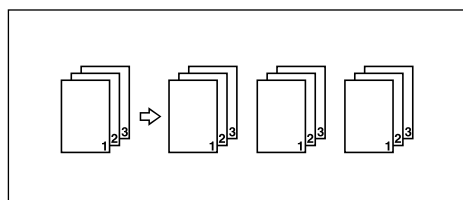
会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。ソートは、パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込むことによって行います。ソートには次の2種類があります。

★重要

- ・手差しトレイから給紙する場合は、回転ソートできません。
- ・サイズの異なるページが混在したデータを回転ソートすることはできません。
- ・[プリンター初期設定]の[自動排紙時間]で設定した時間が過ぎるまでは、最終ページが印刷されない場合があります。
- ・回転ソートをするには、同一サイズ用の紙を異なる方向（)にセットした2段の給紙トレイが必要です。
- ・一部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。

◆ソート

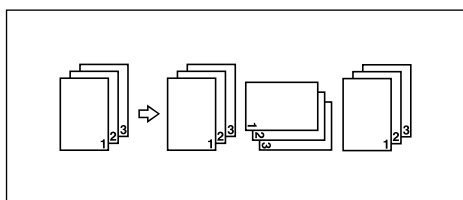
一部ずつそろえて印刷します。



AEU016S

◆回転ソート

1部ずつ \square 交互に向きを変えて印刷します。



AEU017S

以下の場合に回転ソートは解除され、ソートになります。

- ・給紙トレイが指定された場合
- ・A2より大きいサイズや、用紙サイズが混在している場合
- ・不定形サイズが指定された場合

↓ 補足

- RPCS を選択しているときは、ソートまたは回転ソートの設定はプリンタードライバーから行います。
- 不定形サイズはソートできません。
- 回転ソートをすると、印刷速度は他のソートより多少遅くなります。
- 各オプションごとのソート、回転ソートができる用紙のサイズと枚数については、『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「各機能の仕様補足」を参照してください。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

📖 参照

- 『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「各機能の仕様補足」

プリンタードライバーで用紙種類を選択するとき

プリンタードライバーで用紙種類を選択する方法です。

印刷時に選択する用紙の種類は、プリンタードライバーで設定します。本機の給紙トレイにセットされている用紙の種類は、操作部のプリンター画面（またはコピー画面）に表示されますので、選択した種類の用紙がどの給紙トレイにセットされているかを確認できます。

ただしプリンタードライバーで選択できる用紙種類の設定値と、本機のプリンター画面（またはコピー画面）での用紙種類表示は多少異なる場合があります。プリンタードライバーで用紙の種類を選択するときは、どのトレイにどの種類の用紙がセットされているかも確認してください。

↓ 補足

- 用紙種類で「普通紙」を設定したいときは、[システム初期設定]、[用紙設定] タブ、[用紙種類設定] で [表示なし] を選択してください。この場合、本機の操作部には用紙種類が表示されません。
- 用紙種類の設定は、[システム初期設定]、[用紙設定] タブ、[用紙種類設定]で行います。詳しくは、『初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。

📖 参照

- 『初期設定編』「システム初期設定」

印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える

複数のパソコンで本機を共有している場合で、その中に DOS または UNIX で印刷しているパソコンがあるときに使用する機能です。

通常、DOS または UNIX から印刷するには、使用するアプリケーションに応じてプリンターのエミュレーションを設定しておく必要があります。印刷後のエミュレーションとして、DOS または UNIX から印刷するときのエミュレーション（またはプログラム）を選択しておく、次の印刷が DOS または UNIX からの場合でもエミュレーションを切り替えずに印刷できます。

3

- 1** アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。
- 2** ウィンドウタイプとして [ワンクリック設定] を設定しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。
[機能別ウィンドウ] を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
- 3** [印刷後のエミュレーション] ボックスのドロップダウンメニューから [エミュレーション] を選択します。
Windows だけでお使いのときは、[なし] または [直前のエミュレーション] を選択してください。
[直前のエミュレーション] を選択すると、印刷前に設定されていたエミュレーションに戻ります。
- 4** [ワンクリック設定] 選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。
- 5** その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
- 6** 印刷の指示をします。

4. ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

ドキュメントボックスを利用して、蓄積した文書を印刷する方法です。

概要

ドキュメントボックスを利用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件（両面印刷、ステープルなど）で印刷することができます。

複数の文書がドキュメントボックスに送られていても、操作部で文書を選んで印刷するので他人の文書と混ざることがありません。また、パソコンから送られたデータを直接印刷するので高品質を保つことができます。印刷時は本機のハードディスクに展開済みのデータが対象なので高速印刷でき、待ち時間もわずかです。

★重要

- ・万一、本機のハードディスクに不具合が発生した場合、記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ドキュメントボックスにデータを送っているときは、途中でキャンセルしないでください。正しくキャンセルされないことがあります。誤ってキャンセルした場合は、送信したデータを本機の操作部で消去してください。ドキュメントボックスの概要については、『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。
- ・工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから3日（72時間）後に消去されます。文書の自動消去をしない、あるいは一定日数経過後に自動的に消去するように設定を変えることができます。ドキュメントボックスの概要については、『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。
- ・ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は3,000件までです。蓄積文書が3,000件に達すると新しい文書が蓄積されなくなります。ただし、蓄積文書数3,000件に達しないときでも、次の場合は新しい文書は蓄積されません。
 - ・1文書の総ページ数が1,000ページを超えた場合
 - ・蓄積文書総ページ数が9,000ページを超えた場合
 - ・ハードディスクの容量がなくなった場合

パソコンで作成したデータをドキュメントボックスに送ります。ユーザーIDなどの設定方法は、ご使用のOSやプリンタードライバーによって異なります。

以下のドライバーがご使用になれます。

◆ Windows

- RPCS（標準）
文書名とユーザー名を設定します。
プリンタードライバーの［基本］タブ（機能別ウィンドウ選択時）または［印刷機能］タブ（ワンクリック設定選択時）にある［印刷方法］で設定できます。
- PostScript 3（オプション）
プリンタードライバーの［蓄積／履歴］タブにある［印刷方法］で設定できます。

◆ Macintosh（PostScript 3 オプション）

プリンタードライバーの［蓄積／履歴］メニューで設定できます。

↓ 補足

- なお、蓄積文書には、原稿テーブルから読み取ってドキュメントボックスに蓄積した文書も含まれます。不要になった文書はできるだけ消去してください。ドキュメントボックスの概要については、『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。
- ドキュメントボックス以外の機能でハードディスクを使用しているときは、規定の文書数に達する前に蓄積できなくなる場合があります。

📖 参照

- 『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」

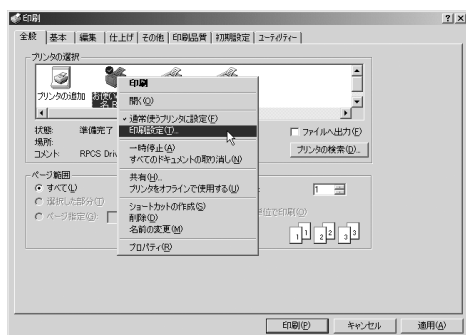
Windows で RPCS（標準）をご使用の場合

ドキュメントボックスを、Windows 環境の RPCS（標準）で使用方法です。

RPCS（標準）での設定方法

アプリケーションからドキュメントボックスに、文書を蓄積する方法について説明します。ここでは、Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例にします。

- 1 蓄積する文書をワードパッドで開き、[ファイル] から [印刷] を選択します。
- 2 [プリンタ選択] で本機を右クリックし、表示されたドロップダウンメニューから [印刷設定] を選択します。



- 3 [印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから [ドキュメントボックスに蓄積する] を選択します。



ドキュメントボックスを使うとき、機能の一部が設定できなくなります。メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。

4 「ユーザー名」「文書名」「パスワード」を設定したいときは、[印刷方法の詳細] をクリックします。

すべて省略することも、一部省略することもできます。すべて省略するときは手順 7 に進みます。

5 必要に応じて「ユーザー名」「文書名」「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

ユーザー名は全角 8 文字、半角 16 文字まで、文書名は全角 8 文字、半角 16 文字まで、パスワードは半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。

6 パスワードを入力した場合は、パスワードの確認画面が表示されます。

入力したパスワードを再度入力し、[OK] をクリックします。

パスワードを入力した場合は忘れないでください。忘れると印刷できなくなります。

7 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

8 [OK] をクリックして設定画面を閉じます。

印刷画面に戻ります。

9 [印刷] をクリックします。

ドキュメントボックスに文書が蓄積されます。

↓ 補足

- ・蓄積文書の印刷方法は、『コピー機能／ドキュメント機能編』「文書を印刷する」を参照してください。

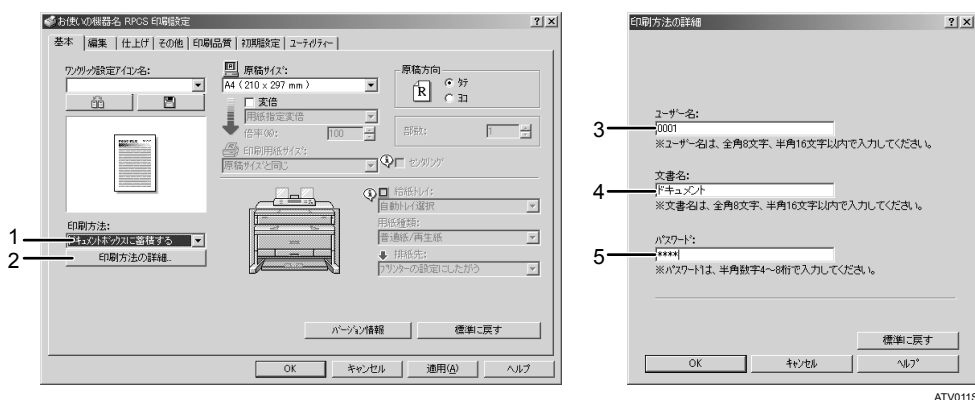
📖 参照

- ・『コピー機能／ドキュメント機能編』「文書を印刷する」

RPCS（標準）での設定項目

RPCS プリンタードライバ画面の表示にしたがって、ドキュメントボックスを使うために必要な項目について説明します。

◆ [基本] タブ



1 [印刷方法]

ドキュメントボックスを利用するときにドロップダウンメニューから「ドキュメントボックスに蓄積する」を選択します。

2 [印刷方法の詳細]

[印刷方法の詳細] ダイアログを表示します。では、ユーザー名、文書名、パスワードを設定することができますが、これらを設定しなくてもドキュメントボックスに文書を蓄積することができます。

3 [ユーザー名]

ユーザー名を設定します。全角 8 文字以内、半角 16 文字以内で入力してください。全角と半角をまぜて使うときは、全角 1 文字を半角 2 文字分で計算してください。ここで設定したユーザー名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

4 [文書名]

蓄積する文書名を設定します。全角 8 文字以内、半角 16 文字以内で入力してください。全角と半角をまぜて使うときは、全角 1 文字を半角 2 文字分で計算してください。ここで設定した文書名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

5 [パスワード]

蓄積した文書を他人に印刷されたり消去されたりしないよう、パスワードを設定することができます。4 文字以上 8 文字以内の半角数字を入力してください。

◆ 送信時に無効となる項目

本機のドキュメントボックスで設定可能な項目（給紙トレイ、部数、ソート、ステープルなど）は、プリンタードライバーで指定しても無効となります。

これらの項目は、本機のドキュメントボックスで設定してください。詳しくは、『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。

↓ 補足

- 原稿サイズと印刷用紙サイズで、不定形サイズを選択することはできません。
- 表計算ソフトなどはシート単位で送信してください。ブック全体を印刷する機能には対応していません。
- プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法や、ドキュメントボックス以外の設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

📖 参照

- 『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」

Windows で PostScript 3 (オプション) をご使用の場合

ドキュメントボックスを、Windows 環境の PostScript 3 (オプション) で使用する方法です。

★重要

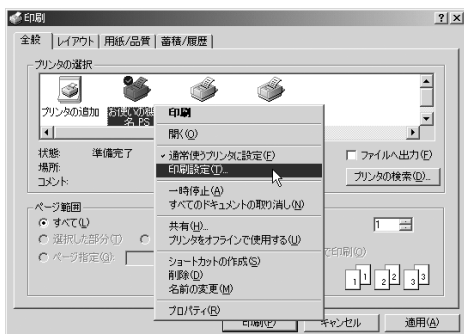
- ・PageMaker からは、ドキュメントボックスを利用できません。

PostScript 3 (オプション) での設定方法

アプリケーションからドキュメントボックスに、文書を蓄積する方法について説明します。ここでは、Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例にします。

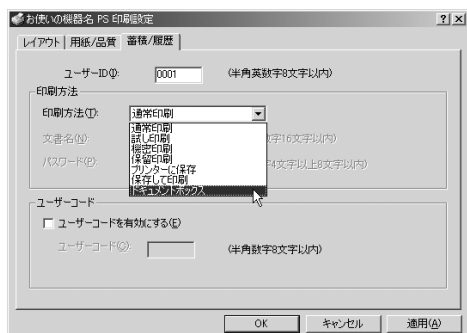
4

- 1 蓄積する文書をアプリケーションで開き、[ファイル] から [印刷] を選択します。
- 2 [プリンタの選択] で本機を右クリックして、表示されたドロップダウンメニューから [印刷設定] を選択します。



- 3 [蓄積／履歴] タブをクリックします。
- 4 [ユーザー ID] にユーザー ID が表示されていないときは、ユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は半角英数字 8 文字まで入力できます。

5 [印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから [ドキュメントボックス] を選択します。



4

6 「文書名」「パスワード」を入力して [適用] をクリックします。

「文書名」「パスワード」は、省略することもできます。

文書名は半角英数字 16 文字まで、パスワードは半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。

7 [OK] をクリックして設定画面を閉じます。

印刷画面に戻ります。

8 [印刷] をクリックします。

ドキュメントボックスに文書が蓄積されます。

↓ 補足

- パスワードを入力した場合は忘れないでください。忘れると印刷できなくなります。
- ドキュメントボックスを使うとき、機能の一部が設定できなくなります。設定できない項目については本機の操作部を使用して設定してください。

PostScript 3（オプション）での設定項目

PostScript 3 プリンタードライバー画面の表示にしたがって、ドキュメントボックスを使うために必要な項目について説明します。

◆【蓄積／履歴】タブ



1 【ユーザー ID】

文書の作成者を区別するための名称です。

半角の英数字 8 文字以内で入力します。

ユーザー ID が他人と重複すると文書の区別がしづらくなるのでご注意ください。

ここで設定したユーザー ID が、本機のドキュメントボックス一覧のユーザー名に表示されます。

2 【印刷方法】

ドキュメントボックスを利用するときにドロップダウンメニューから「ドキュメントボックス」を選択します。

3 【文書名】

蓄積する文書名を設定します。半角の英数字 16 文字以内で入力してください。ここで設定した文書名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

4 【パスワード】

蓄積した文書を他人に印刷されたり消去されたりしないよう、パスワードを設定することができます。4 文字以上 8 文字以内の半角数字を入力してください。

◆ 送信時に無効となる項目

本機のドキュメントボックスで設定可能な項目（給紙トレイ、部数、ソート、ステープルなど）は、プリンタードライバーで指定しても無効となります。

これらの項目は、本機のドキュメントボックスで設定してください。『コピー機能／ドキュメント機能編』『ドキュメントボックスの操作』を参照してください。

↓ 補足

- ・表計算ソフトなどはシート単位で送信してください。ブック全体を印刷する機能には対応していません。

Macintosh での使用の場合

ドキュメントボックスを、Macintosh で使用する場合の方法です。

★重要

- ・PageMaker からは、ドキュメントボックスを利用できません。

Macintosh での設定方法

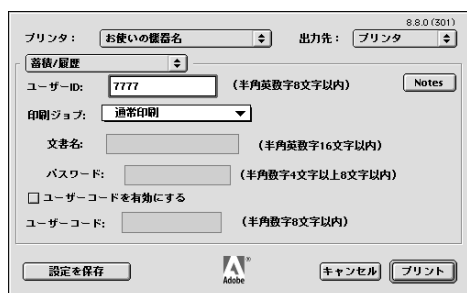
アプリケーションからドキュメントボックスに、文書を蓄積する方法について説明します。

4

- 1 蓄積する文書をアプリケーションで開き、[ファイル] メニューから [プリント] を選択します。
- 2 [一般設定] のドロップダウンメニューから [蓄積/履歴] を選びます。



- 3 [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は半角英数字 8 文字まで入力できます。



- 4 [印刷ジョブ] のドロップダウンメニューから [ドキュメントボックス] を選択します。
- 5 「文書名」「パスワード」を入力します。
「文書名」「パスワード」は、省略することもできます。
文書名は半角英数字 16 文字まで、パスワードは半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。
- 6 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

7 [プリント] をクリックします。

印刷を開始します。

↓ 補足

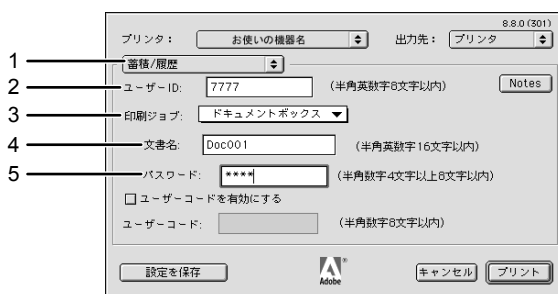
- ・パスワードを入力した場合は忘れないでください。忘れると印刷できなくなります。
- ・ドキュメントボックスを使うとき、機能の一部が設定できなくなります。設定できない項目については本機の操作部を使用して設定してください。

Macintosh での設定項目

PostScript 3 プリンタードライバ画面の表示にしたがって、ドキュメントボックスを使うために必要な項目について説明します。

◆ [蓄積／履歴] メニュー

4



AMT011S

1 [蓄積／履歴] メニュー

ドキュメントボックスを利用するときに選択します。

2 [ユーザー ID]

文書の作成者を区別するための名称です。

半角の英数字 8 文字以内で入力します。

ユーザー ID が他人と重複すると文書の区別がしづらくなるのでご注意ください。

ここで設定したユーザー ID に対応したユーザー名が、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

3 [印刷ジョブ]

ドキュメントボックスを利用するときにドロップダウンメニューから「ドキュメントボックス」を選択します。

4 [文書名]

蓄積する文書名を設定します。半角の英数字 16 文字以内で入力してください。ここで設定した文書名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

5 [パスワード]

蓄積した文書を他人に印刷されたり消去されたりしないよう、パスワードを設定することができます。4文字以上8文字以内の半角数字を入力してください。

◆ 送信時に無効となる項目

本機のドキュメントボックスで設定可能な項目（給紙トレイ、部数、ソート、ステープルなど）は、プリンタードライバーで指定しても無効となります。

これらの項目は、本機のドキュメントボックスで設定してください。詳しくは、『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。

↓ 補足

- ・表計算ソフトなどはシート単位で送信してください。ブック全体を印刷する機能には対応していません。

📖 参照

- ・『コピー機能／ドキュメント機能編』「ドキュメントボックスの操作」

蓄積文書を管理する

本機を TCP/IP を使ってネットワークプリンターとして使用している場合、Web ブラウザを使って、ネットワーク上のパソコンから本機のドキュメントボックスに蓄積されている文書を確認したり、消去したりできます。本機から離れた場所から印刷している場合、操作部上で確認しなくても遠隔操作で確認することができます。

↓ 補足

- Web ブラウザの操作方法など、詳しくは、『ネットワークガイド』「Web ブラウザを使う」、または Web ブラウザのフレーム内に表示されるヘルプを参照してください。

F 参照

- 『ネットワークガイド』「Web ブラウザを使う」

5. 印刷条件を設定する

DOS または UNIX（アプリケーション）から印刷する場合に必要な印刷条件の設定方法について説明します。

印刷条件について

DOS または UNIX（アプリケーション）から印刷する場合に必要な印刷条件の設定方法について説明します。

印刷データを正しく印刷するには、アプリケーションやパソコンに合わせた印刷条件を設定する必要があります。正しい印刷条件を設定しないと、思いどおりの印刷結果が得られません。

印刷条件の設定は、本機の操作部を使用して行います。このあと印刷条件の設定について、RPGL（RP-GL/2）を例にして説明します。

なお Windows でプリンタードライバを使用して印刷する場合は、プリンタードライバで印刷条件を設定するため、本機で設定する必要はありません。

選択しているエミュレーションによっては、印刷条件の設定がないものもあります。この場合、印刷条件の設定はプリンタードライバ側で行ってください。

RTIFF、RPGL（RP-GL/2）の各エミュレーションでの印刷条件については、それぞれの使用説明書を参照してください。

エミュレーションを切り替える

エミュレーションの切り替えについて説明します。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [呼出] を押します。



3 エミュレーションを押して選びます。



4 [OK] を押します。

呼び出したエミュレーションの画面が表示されます。

印刷条件を設定する

印刷条件の設定方法と項目について説明します。

印刷条件の設定方法

印刷条件の設定方法です。

★重要

- ・本機の電源を切ったときに、「印刷条件」は初期値に戻ります。
 - ・ほかのエミュレーションに切り替わったとき「印刷条件」は初期値に戻ります。
- 使用頻度が高いアプリケーションの環境は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておく、エミュレーションが切り替わったり、本機の電源を切っても、プログラムを呼び出せば、同じ条件で印刷することができます。

1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [印刷条件] を押します。

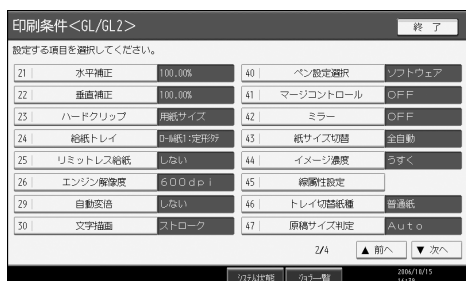


エミュレーションごとの印刷条件を設定する画面が表示されます。

選択しているエミュレーションが本機で印刷条件を設定できない場合、[印刷条件] が画面に表示されません。

3 項目を選び、設定を変更します。

表示されているページを切り替えるには [▲前へ] [▼次へ] を押します。



4 [OK] を押します。

5 [終了] を押します。

プリンター画面に戻ります。

印刷条件リストを印刷する

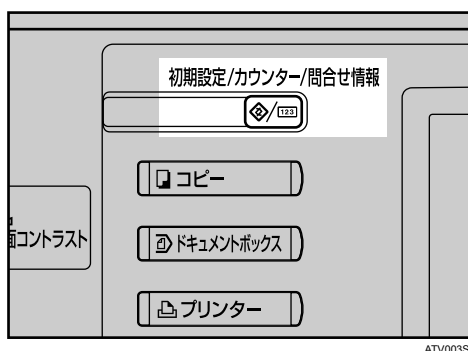
印刷条件リストの印刷方法です。

現在設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

★重要

- ・現在使用しているエミュレーションから他のエミュレーションに切り替えると、現在使用しているエミュレーションの設定内容は初期値に戻ります。

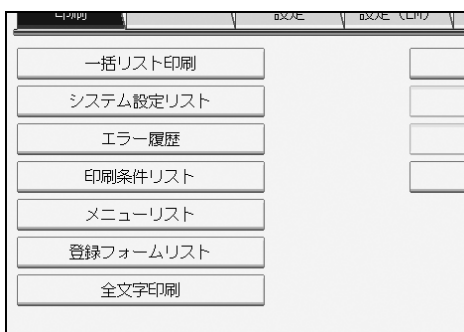
1 [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2 [プリンター初期設定] を押します。

プリンター初期設定画面が表示されます。

3 [テスト印刷] タブの [印刷条件リスト] を押します。



印刷条件リストが印刷されます。

4 印刷が終わったら [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓補足

- ・RPCS や PostScript 3 (オプション) など印刷条件が設定できないエミュレーションを選択しているときは、印刷条件リストを印刷することはできません。
- ・印刷条件リストの見かたについては、各エミュレーションの使用説明書にてご確認ください。

よく使う印刷条件を登録する

印刷条件の登録方法について説明します。

プログラムを登録する

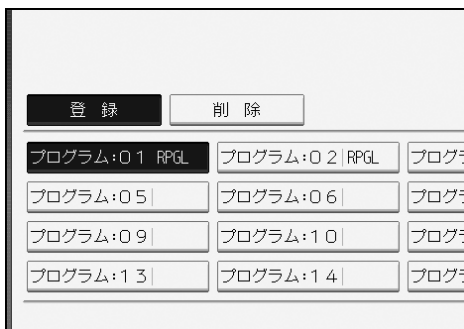
設定した印刷条件をプログラム登録する方法です。

- 1 【プリンター】 キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
- 2 【登録】 を押します。



「エミュレーション/プログラム登録/削除」画面が表示されます。

- 3 登録先のプログラム番号を押します。



- 4 【OK】 を押します。

登録したプログラムの初期画面が表示されます。

補足

- ・メニュープロテクトが設定されていると、【登録】を押したときにアクセスコードの入力画面が表示されることがあります。この場合は、アクセスコードをテンキーで入力してください。詳しくは、『初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。

参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定」

プログラムを呼び出す

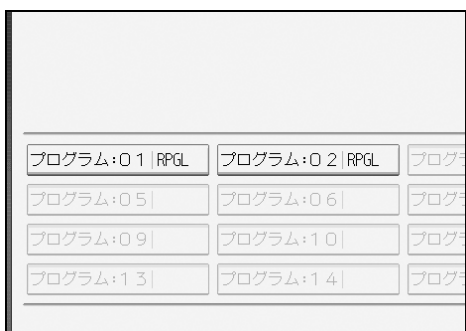
登録したプログラムを呼び出す方法です。

- 1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
- 2 [呼出] を押します。



「エミュレーション/プログラム登録/削除」画面が表示されます。

- 3 呼び出すプログラムのボタンを押します。



- 4 [OK] を押します。

プログラムを削除する

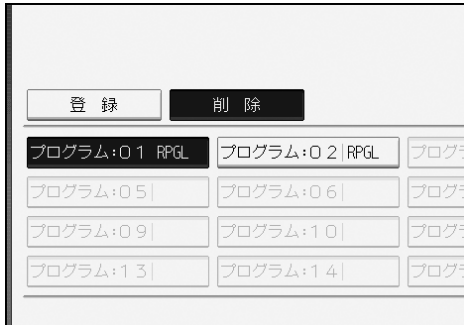
操作部で登録したプログラムを消去する方法です。

- 1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
- 2 [登録] を押します。



「エミュレーション/プログラム登録/削除」画面が表示されます。

- 3 [削除] を押します。
- 4 削除するプログラムを押します。



- 5 [OK] を押します。
確認の画面が表示されます。
- 6 [削除する] を押します。
通常の画面に戻ります。

補足

- ・メニュープロテクトが設定されていると、[登録] を押したときにアクセスコードの入力画面が表示されることがあります。この場合は、アクセスコードをテンキーで入力してください。詳しくは、『初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。
- ・削除しない場合は、[削除しない] を押します。前の画面に戻ります。

参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定」

プログラムの内容を印刷する

操作部で登録したプログラムの内容を、印刷して確認できます。
現在呼び出されているプログラムの登録一覧を印刷します。

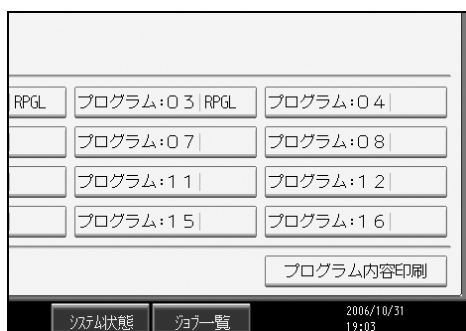
1 [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 [登録] を押します。



「エミュレーション/プログラム登録/削除」画面が表示されます。

3 [プログラム内容印刷] を押します。



プログラムの登録一覧が印刷されます。

4 [取消] を押します。

通常画面に戻ります。

給紙トレイを選択する

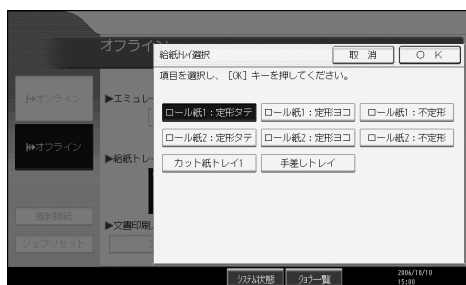
操作部を使い、給紙トレイを選択することができます。

1 【プリンター】 キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2 【給紙トレイ選択】 を押します。



3 給紙トレイを選択します。



4 【OK】 を押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- 操作部での給紙トレイの選択は、RTIFF、RPGL (RP-GL/2) を選択しているときに行えます。

6. 付録

プリンター機能の仕様一覧を示します。

仕様

解像度	200dpi、300dpi、400dpi、600dpi
インターフェース	<ul style="list-style-type: none">• 本体標準： 100BASE-TX/10BASE-T USB2.0• オプション： Gigabit Ethernet 1000BASE-T IEEE1284 準拠双方向パラレル IEEE 802.11b
ページ記述言語	RPCS、Adobe PostScript 3（オプション）
エミュレーション	RTIFF、RP-GL/2、PDF Direct（オプション）
内蔵フォント	明朝 L、ゴシック B、Arial4 書体、CourierNew4 書体、TimesNewRoman4 書体、Windings、Century、Courier10、PrestigeElite12、LetterGothic15、BoldFacePS、Symbol、OCR-B、ストロークフォント
バーコード	2of5 (Industrial)、2of5 (ITF)、2of5 (Matrix)、CODE128 (B)、CODE39、UCC/EAN128、CUSTOMER、JAN (短縮)、JAN (標準)、NW-7、UPC (A)、UPC (E)
USB インターフェース (標準)	<ul style="list-style-type: none">• 対応 OS： Windows Me/2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Mac OS 9.2.2、Mac OS X 10.3.3 以降• 通信方式： USB2.0 規格に対応• 接続方式： USB2.0 規格に対応したデバイス

↓ 補足

- USB インターフェース (標準) を使用する場合、お使いの OS が Windows Me の場合は「USB 印刷サポートドライバ」をインストールしてください。Windows Me のサポート速度は USB1.1 相当です。
- Macintosh では本機標準の USB ポートのみ対応しています。Mac OS 10.3.3 以降のサポート速度は USB2.0 相当です。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- ・コンセントを別にする。
- ・ご利用いただいているインターフェースケーブルを推奨品へ交換する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

※無線 LAN ご使用の場合

本無線製品は 2.4GHz 帯を使用しております。電子レンジ等同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くで運用されていないことをご確認ください。万一干渉した場合、通信状態が不安定になる可能性があります。

ご使用の際は周囲に干渉の起こる機器が存在しないことをご確認ください。

索引

アルファベット索引

IPP	42
LPR ポート	33, 48
Macintosh	136, 137
NetWare	54
Network Monitor for Client	37, 39
Network Monitor for Client ポート	33, 39, 45
PDF 設定	17
PostScript 3	133, 135, 136, 137
PostScript で印刷する	56
PS 設定	17
RPCS	37, 129, 131
Standard TCP/IP ポート	33, 46
TCP/IP	37, 40
USB 接続	58, 60, 61, 63
Windows 2000	60, 72, 73, 74
Windows 95/98/Me	70, 71
Windows Me	58
Windows NT 4.0	81, 83, 84
Windows Server 2003	61, 75, 76, 77
Windows Vista	63, 78, 79, 80
Windows XP	61, 75, 76, 77
Windows ネットワークプリンターを 使う	51
Windows の印刷ポートを使用する	33

あ行

アプリケーションからプロパティを 表示する	71, 74, 77, 80, 84
印刷条件	8, 141
印刷条件の設定	141, 143
印刷条件の登録	145
印刷条件リスト	144
印刷ジョブ消去	110
印刷するための準備	33
印刷の保留	15
印刷を中止する	110, 111
印字設定	17
インターフェース	7, 151
インターフェース設定	17

エミュレーション	7, 142, 151
エミュレーションの切り替え	125, 142
エラー履歴表示	8, 112
おすすめインストール	37
オプション	7, 151
オプション構成	66
おもなオプションと略称	7

か行

カット紙トレイ	30
画面	8
簡単画面	10
機能別ウィンドウ	69
機密印刷	91, 94, 96, 98
機密管理ナンバリング	114
給紙トレイ選択	8, 149
強制排紙	8
この本の読みかた	6
コマンドを使用する	85

さ行

システム設定	17
システム設定 (EM)	17
仕様	151
使用説明書の分冊構成	1
初期設定	17
ジョブ一覧	11
ジョブスプルー一覧表示	8
ジョブの削除	15
ジョブリセット	8, 110
ジョブ履歴	16
スタンプ印字	114, 116
スプルー印刷	113
接続方法の確認	33
全ジョブ消去	110
全文書印刷	108
操作パネル	8
双方向通信	66, 67
ソート	122

た行

試し印刷	91, 92, 94
蓄積文書	127, 139
調整／管理	17
通常画面	8
手差しトレイ	22, 24, 26, 28
テスト印刷	17
電波障害	152
ドキュメントボックス	
.....	127, 129, 131, 133, 136
トレーシングペーパー	28

な行

ネットワーク接続	33, 35
ネットワークプリンター	51

は行

バナーページ	57
パラレル接続	64
日付印字	114, 120
フィルム	28
フォームフィード	56
フォント	151
不定形サイズのセット	26, 30
プリンター初期設定	17
プリンタードライバ	
.....	66, 69, 124, 129, 133, 136
プリンタードライバ設定画面の	
表示方法	70, 72, 75, 78, 81
プリンタードライバの	
インストール	37, 39, 51, 58, 64
プリンタープロパティ	
.....	70, 72, 75, 78, 81
プリントサーバーを使用する	35, 54
付録	151
プログラム削除	147
プログラム内容印刷	148
プログラムを登録する	145
プログラムを呼び出す	146
文書一覧画面	86, 91
文書印刷機能	86, 89
文書印刷初期画面	89
文書の蓄積	127
文書を選択して印刷する	106
ポートの設定	39

保存文書	91, 102, 103, 105
保留文書	91, 99, 100, 101

ま行

マークについて	6
マニュアル	1

や行

ユーザー ID 一覧画面	86, 89, 106
ユーザースタンプ印字	114, 118
用紙種類の選択	124
用紙のセット	22, 24, 30
予約順印刷	11
予約内容の確認	13

ら行

リモートプリンター	54
ローカル接続	36
ロール紙トレイ	30

わ行

ワンクリック設定	69
----------	----

商標

- ドキュメントボックス、RPCS、RP-GL/2、RTIFF は株式会社リコーの商標または登録商標です。
 - Microsoft[®]、Windows[®]、Windows NT[®]、Windows Server[®]、Windows Vista[™] は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 - Adobe[®]、Acrobat[®]、PostScript[®]、Reader[®] は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標です。
 - NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
 - IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
 - NEC、PC-98NX シリーズ、PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズは、日本電気株式会社の登録商標です。
 - Adobe、PostScript、Acrobat、PageMaker、Adobe Type Manager は、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
 - UNIX は、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国々における登録商標です。
 - AS/400 は、IBM の登録商標です。
 - EPSON、ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
 - HP-GL/2、HP RTL、HP-DJ600、HP7550A は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
 - MIPS は、MIPS Technologies, Inc. の登録商標です。
 - その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。
- * Windows[®] 95 の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] 95 です。
 - * Windows[®] 98 の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] 98 です。
 - * Windows[®] Me の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition (Windows Me) です。
 - * Windows[®] 2000 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Server
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Advanced Server
 - * Windows[®] XP の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Professional
 - * Windows[®] Vista の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] Vista[™] Ultimate
 - Microsoft[®] Windows[®] Vista[™] Enterprise
 - Microsoft[®] Windows[®] Vista[™] Business
 - Microsoft[®] Windows[®] Vista[™] Home Premium
 - Microsoft[®] Windows[®] Vista[™] Home Basic
 - * Windows Server[®] 2003 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Standard Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Enterprise Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Web Edition
 - * Windows NT[®] 4.0 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows NT[®] Server 4.0
 - Microsoft[®] Windows NT[®] Workstation 4.0

★重要

- 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

■ 本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。